處女の友

2巻8号

第二巻　第十月號

大正八年九月廿八日印刷納本
大正八年十月一日發行（毎月一回一日發行）
大正七年十二月二十三日第三種郵便物認可

處女會中央部發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

◎秋季大賣出し　十月一日より

◎寄切れ格安反物大賣出し　十月一日より

◎流行品陳列會　十月一日より

◎七五三御祝着陳列　十月一日より

白木屋呉服店

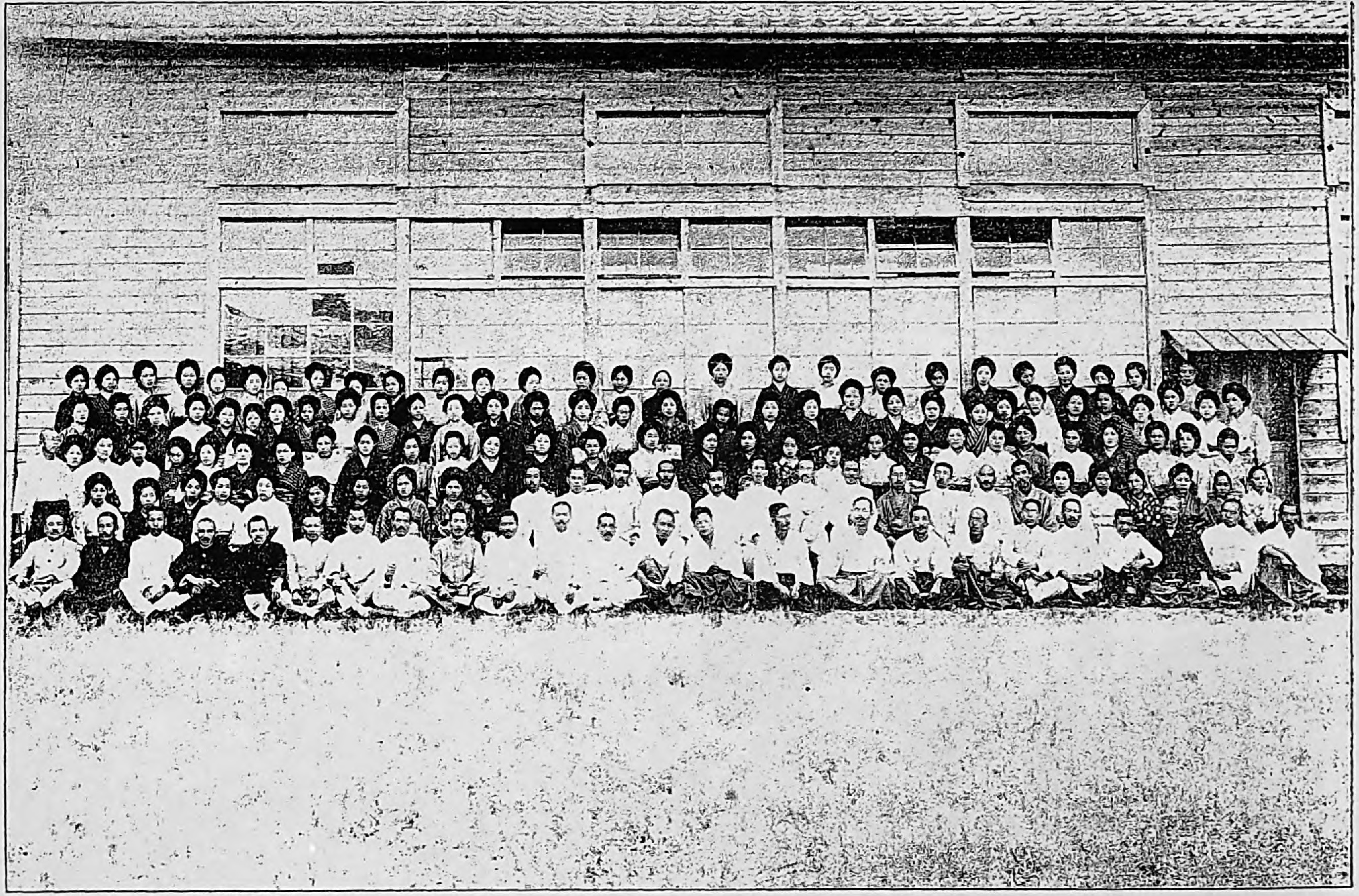
◎各大家漫畫展覽會　十一日より十七日迄

◎日本書道會展觀　十一日より十七日迄

◎京都表装百幅會　廿一日より廿七日迄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

知歌山縣伊都郡主催婦人會愛導者講習會

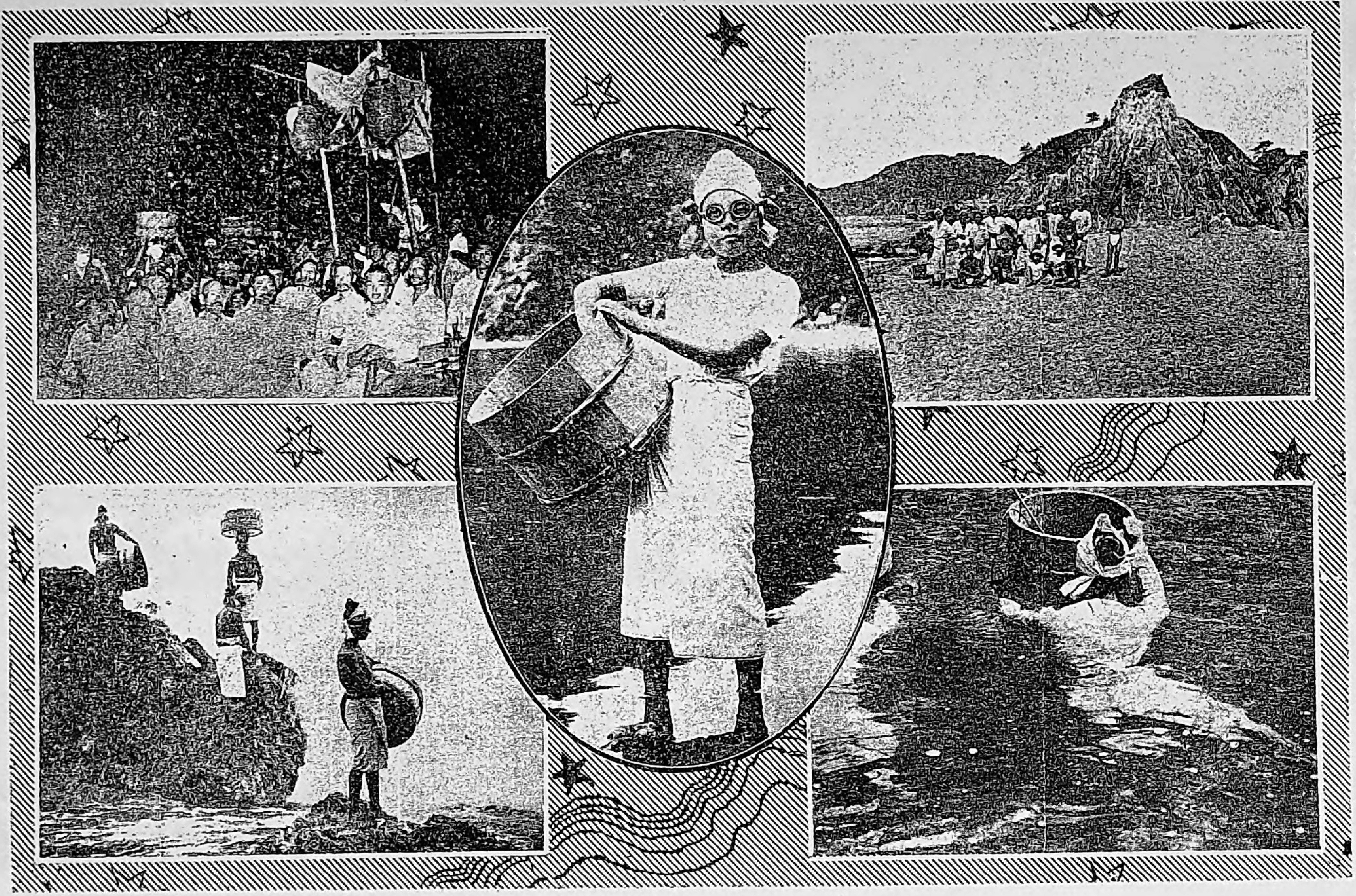


大正八年八月五日より三日間橋本町高等女學校に於て開催同校女教員、有志夫人、令孃、婦人會幹部等百六十餘名の聽講者あり修了記念撮影

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

漁村處女會(三重縣)の活動

(記事參照)



志摩郡塔志島の海女

志摩郡塔志島の盆踊

海女磯桶に依りて泳ぐ

岩上に立てる海女

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

斯民

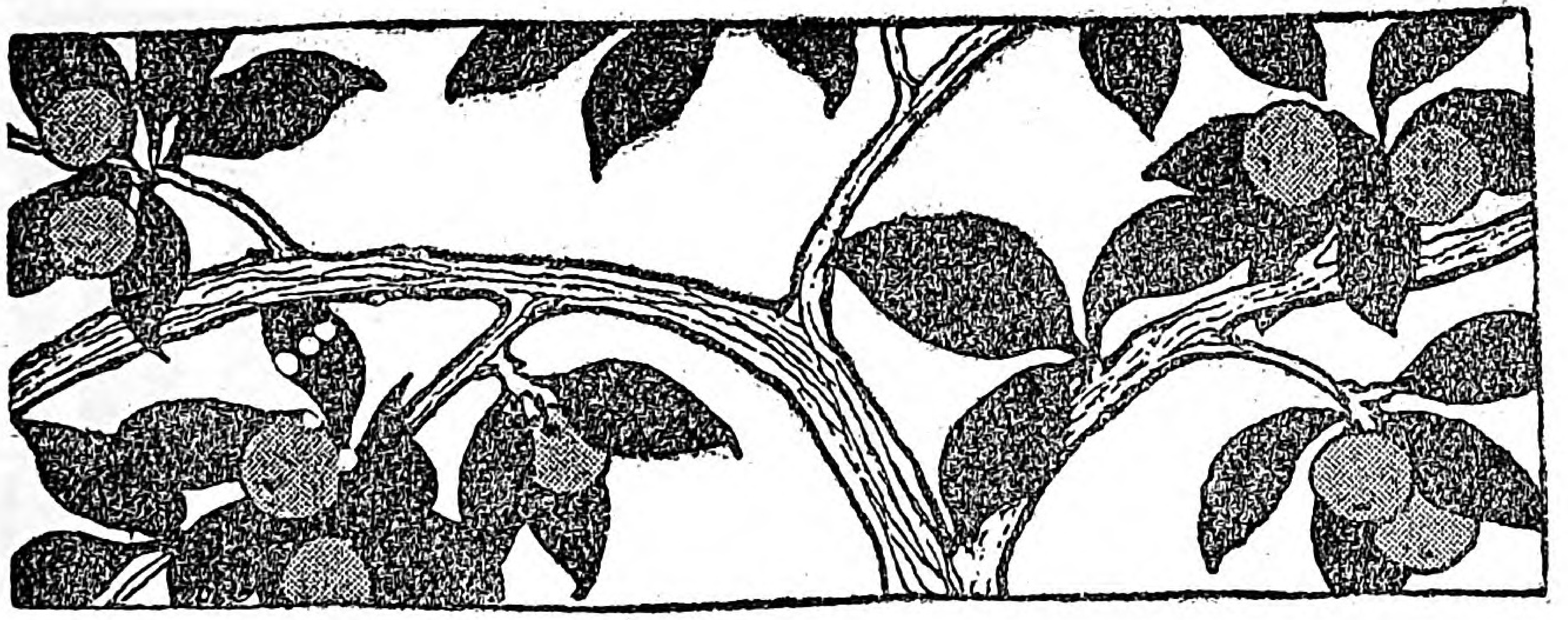
十月號（第十四編第十號）　一部廿錢　一年二圓四十錢

食糧問題の解決策……矢作博士
外來思想の批判……深作博士
滿蒙を我倉庫たらしめよ……永井博士
農村社會教育振興策……佐上書記官
地主と小作人……天野藤男
民心の歸嚮統一……一木博士
福田氏の養魚事業……村田講師
埼玉縣の福利委員……國村準一
予の觀たる井上明府……留岡幸助
食堂と井上知事……安本重治
自治法令の研究……平井良成
難村諏訪原新田の改善……稲田先生
報往千話……井口丑二

本會民力涵養食糧調節宣傳大講演會（全國七大都市に於ける實况）

發行所　東京市麹町區永田町一丁目　中央報徳會　振替東京九七〇〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



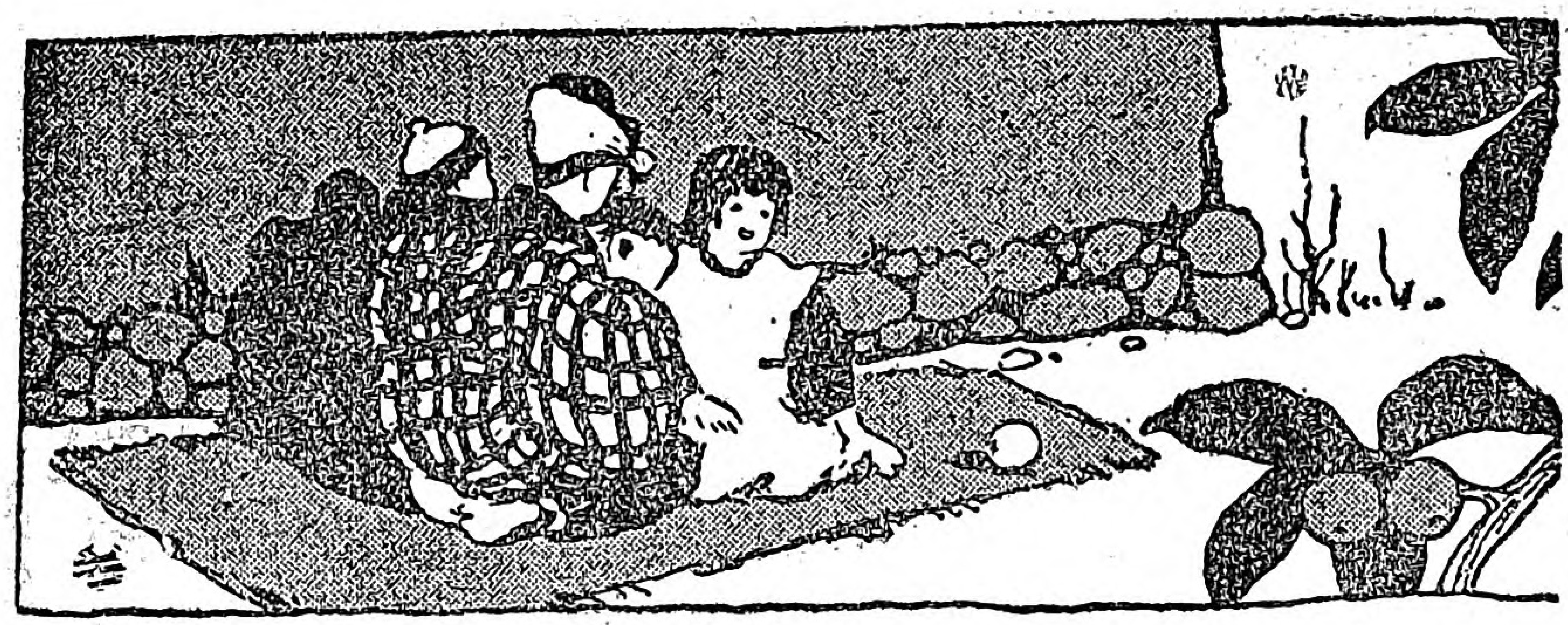
處女の友

十月號目次

大正八年十月一日發行

□表紙
□渡り鳥……田代紫光筆
□口繪
□和歌山縣伊都郡婦人會愛讀者講習會
□漁村處女會（三重縣）の活動
□記事
□巻頭（内務大臣訓令の五大要項）……一
□社説 節米代用食より食物の研究へ……二
□食物に就ての文部大臣の訓令……五
□民力涵養數へ歌……岡部榮信作……五
□工女と田園趣味と節米……東京女子高等師範學校長 湯原元一……六
□大食と小食と粗食……醫學博士 二木謙三……九
□衣食住の改善……處女會中央部理事 山脇房子……一三
□田舍の人は幸福……處女會中央部理事 嘉悦孝子……一五
□馬鈴薯飯の炊方……農商務省編……一七
□食物と榮養の話……内務省編……二〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



□節米のすゝめ……三
□漁村處女會員と鮑を取るの記……處女會中央部理事 天野藤男……一三
□高野山上の婦人會……一八
□和歌山縣伊都郡婦人會々則……二九
□北海道より……内務省囑託 留岡幸助……三一
□(傳說)片葉葦……畠山敬子……三五
□救はれた地方の娘……三五
□吃りの學校……婦人記者……三八
□(處女哀話)都にあこがれて(其の一)……四〇
□三重縣氣多郡西外城多村處女會一覽……四三
□ゑはがきの旅便り……四四
□東京に地方改良婦人會の誕生……四六
□農村の將來と婦人の覺悟……田邊ミヱ子……四八
□和歌山縣伊都郡婦人會一覽表……五一
□馬鈴薯飯の炊き方圖解……五三
□新しい代用食の研究……府立第三高等女學校敎諭 中澤美代子……五四
□晨の鐘……内務事務官 田中廣太郎……五六
□處女新聞(十月號)……五七
□處女文壇……五八
□懸賞文募集……考へ物……五九
□編輯便り……六〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

青年圖書

大久保四淵著

青年訓話 軍神乃木

著者の麗筆に依りて將軍の面目書中に躍出す

四六版三五〇頁 定價四拾錢 =送料四錢=

青年團員手牒

青年團員必携の信用狀▲總クロース和紙堅牢無比▲青年團中央部編纂

定價拾錢=送料三部迄貳錢

帝國青年の歌

豪壯の歌勇快の曲=▲青年團中央部選▲島崎東京音樂學校教授作曲

定價五錢=送料九部迄貳錢

青年團體操

器具不用且場所を要せず實行簡易 陸軍戸山學校選青年團中央部編纂

定價五錢=送料四部迄貳錢

緬羊の飼ひ方

青年團中央部農業主任和田穆新著 平明懇切總振假名付袖珍形頗美本

定價六拾五錢=送料四錢

青年團指導

青年團改善指導の標準書▲青年團中央部編纂▲菊判三百八十有餘頁

定價壹圓參拾錢=送料拾貳錢

趣味讀本 通俗文學

文部省普通學務局玉井廣平先生著 青年の娯樂用課外讀本として好適

定價七拾五錢=送料六錢

地方青年の教養

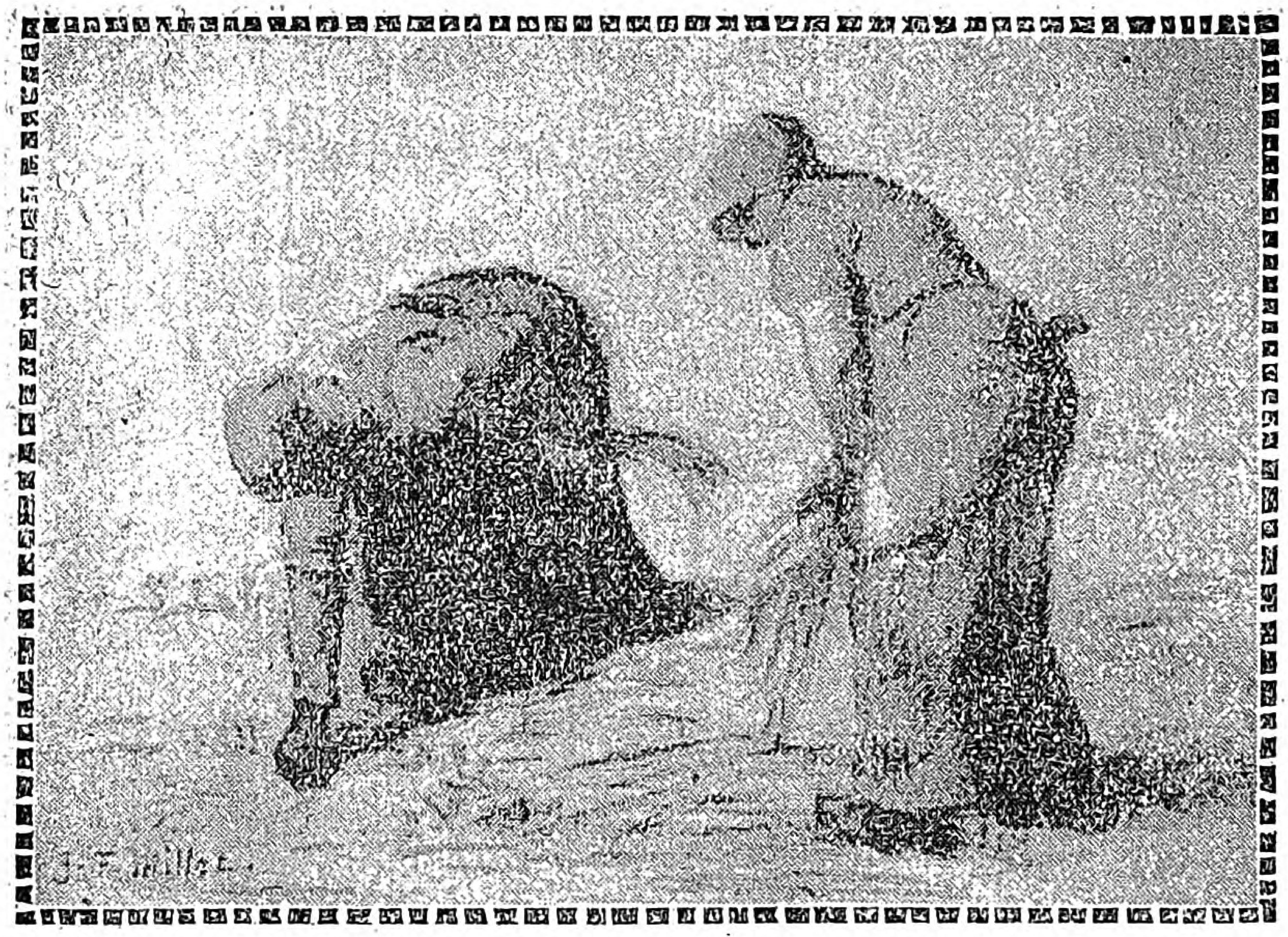
内務省監察官守屋榮夫先生著▲青年團員教養に關する新研究の發表

定價壹圓參拾錢=送料拾貳錢

東京市麴町區永田町一丁目 帝國青年發行所 振替口座東京二一六八番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



落ち穂拾ひ　　ミレー筆

處女の友　十月號

内務大臣訓令の要目

一 日本の國の成り立つた、大本を明らかにして、國の基をかため、お國を思ふ心をしつかりと養ふこと。

二 憲法の精神を明らかにして、自治の考へを練りかため、公共の事に盡くす心を養ひ、お國の爲に身を捧げる心根を、強く盛んにすること。

三 世界の進歩に後れぬように、力めて新らしい智識を修め、徳をみがくこと。

四 互に睦み合ひ、助け合ひ、勵まし合ひ、個人は固より、いろ〳〵の團體や、いろいろの階級を正しく發達させ、かりそめにも、かるはずみの振舞のないようにすること。

五 よく働くと共に儉約するの美しい風を盛んに興し、仕事のもとでをふやし、暮らしを樂にする工風をすること。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

節米代用食より食物の研究へ

(一) 二千萬石の不足

御承知の如く、日本の人口はざつと五千六百萬人で毎年七十萬人位づゝ人口が殖えます。所がお米は平均五千五百萬石しかとれません。一人が一年に一石三斗食べるとしますと、約二千萬石以上の不足となる勘定ですが、地方ではお米をそんなに食べてゐませぬから、實際の所三百萬石位不足といふことになつてゐます。この不足は外國米を買ひ入れて補つてゐることは、皆様御承知の通りであります。
然し近頃地方の人もお金廻りのよい所から大分お米の御飯を食べるようになりました。又養蠶の好景氣から田を埋めて桑畑とした地方も少くありませぬ。お米の收穫が少くなる譯です。又町の職人なども景氣のよい所からお米の御飯をよけいにたべるようになりました。之に加へてお酒に使ふお米の量も多くなつてゐます。

こんなことでお米の使用量は段々多くなり、お米の在り高は次第に減つて來ました。減つて來れば値段も高くなる道理です。政府でも非常に心配しまして、今回お國の費用から二十萬圓を支出いたしまして、お米の節約をすゝめると共に、お米の代りになつて、經濟にもなる食物を工夫し、其を全國にひろめることになりまして、我が處女會中央部にもその趣旨を以て補助金が下附されました。仍で本月の雜誌をば節米奬勵號として、主もに食物の節約、代用食の奬めについての記事を載せることに致しました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

(二) 節米代用食は義務

皆様の多數は農家又は農家に緣あるお方で從つてお米は澤山持つてゐられるでせう。自分で丹精したものを、自分で食べるのに、何の遠慮もない筈です。又町のお金持はいくらお米が高くてもお金の力でお米をたくさん手に入れることが出來ませう。自分の家でとつたお米を自分の家で食べ、自分のお金でお米を澤山買ふ、どちらも勝手の筈です。

然しよく考へて下さい。日本全體としてお米が足りない、平氣で食べてゆけば、今に益々量が乏しくなり、價はいよ〳〵上つて來る。價が上れば、普通の暮らしをしてゐる人は困ります。生活の不安といふことは、最も恐ろしいことです。

仍で、お米の節約は、めい〳〵の經濟といふことからでなく、お國の爲め、大勢の人の爲めに必要な義務なのです。

皆様は御自分で作つてゐられるお米を、御自分で食べずに、お麥を混ぜたり、さつま芋を混ぜたり、又はお團子やお蕎麥なぞをごはんの代用にして居られる。とつくの昔から節米を實行し、混食代用食を勵行してゐるのです。たふといことです。汗流した農民がお米を控へ目に食べ、ふところ手してゐる町の人がふんだんに食べる。あべこべです。

(三) 食物と婦人

然し皆様に望みますのは、單に習慣的に節米混食をするといふばかりでなく、今少し研究的に、科學的

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

に、學理的に、數量的に食糧のことに心を用ひて下さい。幸に皆樣は處女會婦人會の會員であられる。團體の事業として、食糧の研究や實習をして下さい。麥飯の營養分は米とどうちがふか、どちらが消化がよいか、自分の村ではどの位お米がとれるか、その中どの位使ふか。米と麥との混せ方の割合はどうしたら一番經濟で且つをいしいか、四度のごはんを三度にすることは出來まいか、（地方によると五度も食べるところがある）さうするには何時と何時に食べてよいか、といふようなことをまじめに研究して下さい。幸にお米もお麥もある、野菜もある、果實もある、魚や鳥さへお金入らずに手に入れることの出來る家も多い。かように材料が豐富であります。この新らしい材料を、どういふ風に調理したならば、經濟で、變化があり、をいしく、滋養になるかといふことを工夫するのです。是は婦人の責任です。お國に對する立派な御奉公です。

農夫はよく働きます、働くからお腹がすく、すくからまづいものでも澤山食べる。食べるとお腹が張つて安眠出來る――是は昔のことです。衛生的文明的でありません、食物は活動の素です。又一家團欒の媒介をするものです。婦人の力に依つて家内中の人がをいしくごはんを食べ、元氣を出すことが出來るといふようにならねばいけません。又昔の婦人は粗食をすることを自慢とし、女のたしなみと思ひ、主人のお肴の殘りや、お香々などばかり食べてゐましたが、其は自分の身體に對して不忠實であるばかりでなく、家に對しても不忠です。何故ならば女の身體は、自分の身體で自分のものでありませぬ。子孫の身體です自分が粗食をすれば、營養不良の子供が生れます。何が儉約になりませう。

近頃處女會の事業として料理講習會、衛生講話會、臺所整頓品評會などが方々で開催されますことは、誠に喜ばしいことであります。食糧問題の喧しい時、節米混食の研究から、進んで農村食物營養の研究、農村の勞働と食物との關係、農村新料理法の發明といふ方面に力を注がれんことを望みます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

食物に就ての文部大臣の訓令

曠古の戰爭が止んで平和が回復したのは、世界人類の等しく祝福する所である。而して歐米の各國は、此の戰爭の爲に受けた創痍を癒して、國民生活の安定と向上とを圖るに最も苦心して居る。特に食料問題に就ては、何れも戰後經營の一大方策として、國を擧げて之が解決に努めて居るのである。思ふに食料の問題は單純な時事問題として見るべきものでなく、實に國運の消長に關する永遠の事項であるから、我國に於ても大に食糧の增殖を圖ると共に、國民をして雜穀、甘藷、馬鈴薯其他のものを常用に供する良習慣を養はせなければならぬ。而し之が實行に就ては國民の自覺と理解とに依る外はない、隨つで學校の內外に於ける敎育の力に俟つものが頗る多いのである。故に敎育の任に當る者が、常に眞摯な態度で此の問題の講究に勉めることは勿論、之に關する政府の施設及び學者の研究を會得して之を敎授の實際に應用し、學生生徒兒童をして食料問題に關する理解を得させ、混食代用食炊事の改良、養鷄、養豚及果樹、蔬菜の栽培等、苟も學校に於て實行の出來る事柄は直に實行し、之を家庭に之を社會に及ぼすことが最も緊要である。地方長官及び學校當事者に於ては、能く此の趣意を心得、之が實行を促すと共に、進んで弘く其の宣傳に努め、國家の期待に副ふことを切に希ふ所である。

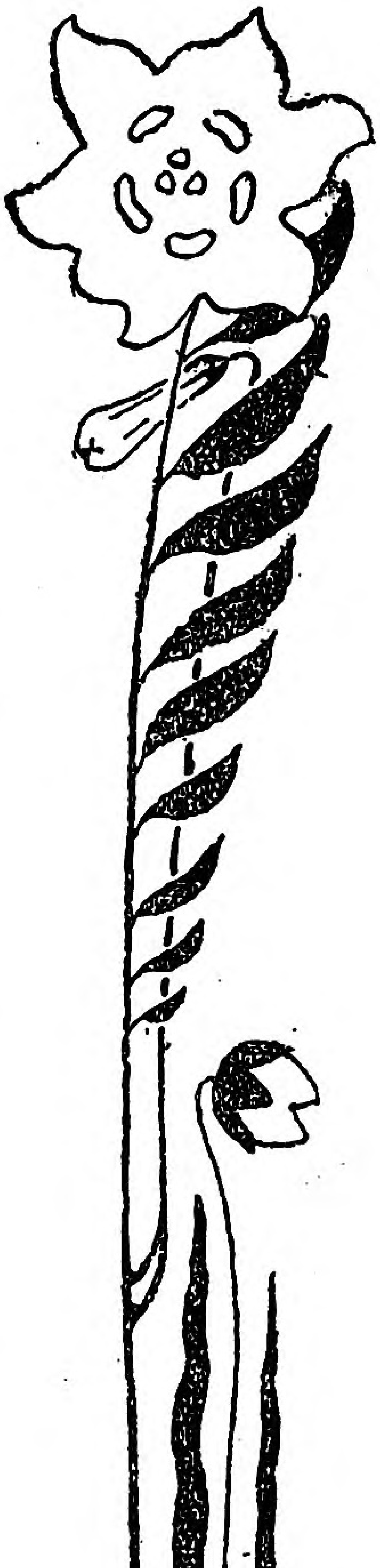
通俗 民力涵養數へ歌

——親愛なる農人諸君の爲に——

上毛　岡部榮信

一トツトヤ光り輝く日本國〳〵
　萬世一系比類なし〳〵
二ツトヤ奮闘努力を主義として〳〵
　國家を愛せよ我友よ〳〵
三ツトヤ見給へ世界の大勢を〳〵
　實力なければ負ますぞ〳〵
四ツトヤ弱きを助けて武士道の〳〵
　本領發揮をするがよい〳〵
五ツトヤ衣食が足られば不安心〳〵
　稼穡に勵んで呉れ給へ〳〵
六ツトヤ昔と違つて世の中が〳〵
　進んで來たから油斷すな〳〵
七ツトヤ難儀や苦勞は人生の〳〵
　試驗と思ふて辛抱せよ〳〵
八ツトヤ山には樹を植ゑ地は拓き〳〵
　殖産興業願みます〳〵
九ツトヤ故郷は戀しきものなれど〳〵
　海外發展又愉快〳〵
十トヤ年寄ぶらずに活動し〳〵
　世界の覇者たれ我友よ〳〵

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



工女と田園趣味と節米

東京女子高等師範學校長　湯原元一

秋雨のからりと霽れた日の午後、お茶の水の女子高師校に湯原校長をお訪れしますと、快よく校長室に導いて下すつて、地方處女會のことから節米のお話、婦女の修養など趣味と教訓とに滿々たるお高說のかず〳〵を伺ひました。次に御紹介致しますのは、校長のお話の片鱗でございます。

回工女の向上

『青年會に對して處女會の必要は申すまでもないことで、私共も夙に感じて居るが、然しなか〳〵大事業ですな、都會より地方がなか〳〵熱心に活動してゐるようです、是からは、男子ばかりではいけません、是非とも女子の智能を上進して、兩々相俟つて家庭なり社會なりに貢獻してゆかなければ理想でない』と處女會に就て御同情ある御聲援をして下さいました。記者は、處女會中央部が最近東京市の工場中女子を多數使用せる工場に對

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

し、女子向上の目的を以て巡廻講演を開始せる旨をお話し致しますと、

『其は結構なお企です。工場と農村との連絡、工女と處女會との連絡は大切なことです。先頃も都下の工場關係者の集會上で女工の修養に就て意見を述べましたが、今少し工女なども自身聰明となり、向上してゆかねばいけない。近來は大分工場の設備も完全となり工女の品行も上進したようであるが、隨分以前はいかゞはしい問題も多く起つたように聞く、然し既に工女となつたものは完全に向上させることはなか〱困難である。寧ろ工女となる以前に、地方に於て十分に訓練を施し、都會の事情や工場の智識を授けるようにしたいものである。幸に處女會などが出來て居る地方では、處女會に於て訓練して欲しいと思ふ』

記者は三重縣、大分縣下に於ける處女會と工場との連絡に就ての事例をお話しますと、大變そのことを喜んで下さいました。

◎『土に親しめ』主義

『近年女學校の生徒が、田園に趣味を持つやうになりましたことは非常に欣ばしいことゝ思ひます。貴校でも「土に親しめ」主義を鼓吹してゐられるようですが、たふとく思ひます。學校園も綺麗に整頓してゐます。』

と申し上げますと、校長は窓を開いて、玄關から校庭を見渡され、

『花園も校庭も皆生徒が手入します。皆たのしんでやります。兎角若い婦人はこういふことが嫌ひでしてな、凡て堅い六づかしいことが嫌ひで、文學とか音樂とかの感傷的なものを好むような傾向がある。然し本校では專ら質實活動の精神を鼓吹してゐます。將來暑中休暇等には尙一層「土に親しめ」主義を宣傳し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

たいと思つて居ります。休暇を活用して都會と田園との連絡を圖るのも有要なことゝ思ふ」

授業は終つて生徒は退散し、あたりはシンとして、鈍い秋の日影がしづかに校庭を照らしてゐます。

其から地方婦人の活動に話頭を轉ぜられ、越後の某漁村婦女子の家庭内助の功績について、趣味ある視察談をして下さいました

回食料研究は實際的なれ

「節米運動も盛んになりました。こんど御校を拜借して內務省主催の代用食講習會が開かれます。全國の家事科女教員が一堂に集つて食糧問題を研究することは愉快なことと思ひます」

先生は節米、代用食に就ては、力めて地方の實際に適合し、直に實効を奏するように工風したいといふ御意見で、

「どうも大勢の人のする所をみると、迂遠なことが少くない。足許に材料が轉つてゐるのに、外國流にやられば承知が出來んといふ風がある。日本は日本だから特別な工風をするがよい、一も二も外國々々いつて、日本の國情に叶はぬものを奬めのは感心しない。節米代用食は幸によい思ひつきであるが、よく研究して、實地に應用が出來、經濟であるといふようにしなければならぬ」

と極めて適切な御注意のあとで、

「私の所ではパンへバタを少しつけ中へ鰹節を少し挾み込む、手輕で旨いサンドウヰッチが出來ます、子供は大喜びですせ、又麥など籾殼を煎つて詮じるといゝ紅茶が出來ます。何でも工風次第で在來の材料で手輕い旨い料理が出來るのである。どんなによい料理でも、材料がやかましく、時間を取つて面倒で、其の上不經濟では、すゝめるのは無効だ」

此の外先生のお宅で御實驗なすつてゐらしやるいろ〳〵の嶄新簡易な料理方を伺つてゐますと、上野の或る會のお迎ひの車が參りましたのでお暇を致しまして校庭に下りますと、秋の夕日が黃色に輝いてつく〳〵法師蟬が逝く秋の名殘を惜むが如く校樹の梢に啼てゐた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

美食と小食と粗食

醫學博士　一木謙三

昔の人は菜食で小食

昔の人は多く小食と菜食とを貴びました。これは東洋ばかりでなく、歐米各國に於ても同樣であります。たとへば、現在肉食國の標準とされてゐる獨逸でさへも、今から百年百五十年ばかり前には、その頃獨逸で第一流といはれた醫學博士のフーヘランド氏が頻りに小食と菜食とを唱へて、一般の國民に實行させようとしたものであります。此フーヘランド氏は、簡易な淡白な食物は長壽に利益があり、複雜で贅澤な食物は健康を害して生命を短縮するといつてゐます。そして最も長生をした人は、小い頃から野菜ばかりを食べて肉類の味を知らないといふ樣な人の中に見出されるといつてゐます。

又英國でも、或歷史家は、古代の英國人は、主に果物と水とをたべてゐたけれども、その壽命は大抵百三十歲以上であつたと書いてをります。その他の國々でも、かういふ例はかぞへられない位に澤山ありまして支那印度の長壽論者はいふまでもなく、日本の人でも昔の人は皆粗食と小食とを奬めて、美食を戒めてをります。

人體は完全な器械

けれども、今日では所謂滋養物を澤山にとらなければ體の力がまさないやうに言ひ、又一般の人も考へてをりますが、これは考へものだと思ひます。何故とい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふに、美食は生命をちゞめる基だといふ學者が澤山ありますし、又實際美食のために生命をちゞめた人もなか〳〵少くありませんから。

今人間の體を、器械に比べてみます。器械にしてみたところで、その馬力の出方は石炭の出方の多少に比例しますけれど、どんなに石炭ばかり澤山たいたところが、その器械の構造がわるければ、何の役にもたちませぬ。若し立派な器械でありましたならば、石炭を焚く割りに馬力の出方が多く、これでこそ高等の器械といふことが出來るのであります。この點からいへば人の體といふ器械は、非常に高等で完全で、到底他の器械の及ぶところではありません。

例へば、一日に三度、一度に三杯づゝも御飯をたべそれに少しばかりの副食物をとつておけば、一日中重い車を引くことも出來、又頭を働かしてどんな大きな發明でもする事が出來る。こんな立派な器械は他にはない筈であります。

それに、他の器械とはちがつて、使へば使ふ程練習をつめばつむ程、その力は強くなるといふ、結構な性質をもつてゐるので、美食、大食をしなければ、活力精力が出ないといふやうな、そんなやくざなものではありません。若し出ないといふ人があつたら、それは大變悪い器械の持主であつて、粗食、小食で以て澤山の力を現はされる人は、よい器械をもつてゐるのであります。

九晝夜不眠不食で研究

一體よい器械といふものは、すでに壞れやすいものでありますが、人間の體は之に反して良い器械ほどこはれません。ここをよく考へねばならぬ所で、たゞ滋養物さへ澤山にとれば、力が出るとは決していへません。

米國のトーマス、エヂソンといふ博士は大變な研究好きで澤山の有益な發明をしてゐますが、この人が發明に熱中する時には、二百二十二時間（九晝夜以上）もぶつ通しで、不眠、不休、不食で働いてゐるさうで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

す。この長い間、食はず休まず眠らずに、働きつゞけてゐるエヂソン博士は、全く立派な器械の持主であります。それでは、この人はふだん何をたべてゐますでせうか、誰も不思議に思はぬ人はないでありませうが、この人は平常の食物は、肉ならば僅かに一寸角位それに燒パンに林檎のジャムを少しつけて、それもたまに食べるだけ、睡眠時間といつても極く僅かで一時間とまとまつて眠つたことがないといひます。博士ばかりでなく、六人の助手もこれと同じ生活をしてゐますが、これは練習の結果で少しも雜作ないことだといつてゐます。

私の主張は、美食に過ぐるなかれ、多食にすぐるなかれ、自分の消化し得る分量の八分に食せよ、肉食菜食の何れの一方にも片よるな、といふ事であります。私共は必ずしもこの人達の眞似をしようとは思はなくてよろしい、然しこんな生活をしても人間は大きな仕事が出來るものだといふ事を説明するに、一例としてかいたばかりであります。

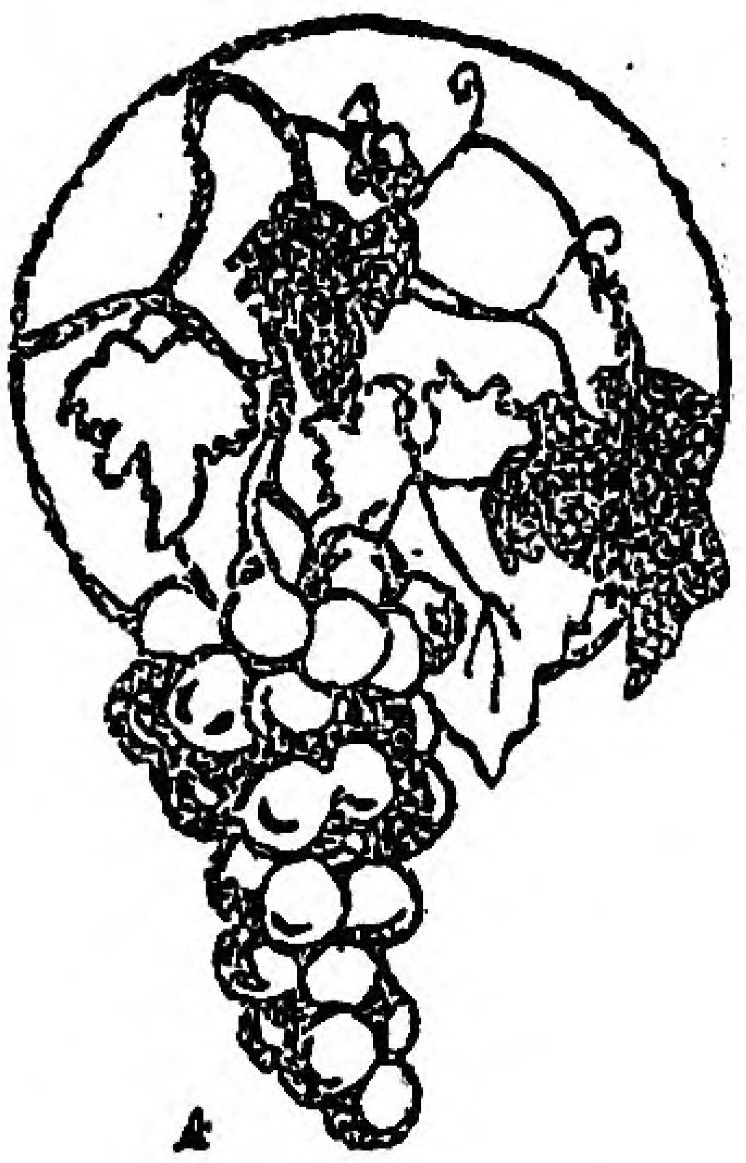
そして、大食をしなければ、又美食をしなければならないと考へて、却て體を害しつゝある人に向つて、戒めてみたいと思ふのであります。

米はどれだけ足りないかどれだけ食べるか。

年度	とれだか	つかひだか	不足だか	一人のたべだか
大正元年	五、〇二二萬石	五、四六〇萬石	四三八萬石	一、〇三七石
最近五年平均	五、五二四	五、七二〇	一九六	一、〇五〇
大正七年	五、七三〇	六、〇七〇	二四〇	一、〇七九

その解決策　一に曰く多作　二に曰く節米　三に曰く代用食

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



衣食住の改善

中央部理事 山脇房子

むしろ女の力

今はヨーロッパの大戰の影響をうけて、世界各國がすべての事を改造しなければならぬ、古い社會組織、古い敎育人古い生活法、あらゆるものを新しく改善しなければならぬと、叫んでゐる時でありますから、私共も私共の携はつてゐる、又は携はり得る範圍の中で出來るだけの工夫と改善とをしなければならぬと思ひます。私共の日常生活に、一日も缺くことの出來ないのは、衣食住の三つであります。この三つを工夫し改善して、無駄を省き、簡單に輕便にするならば、私共の生活はまだ／＼どれだけ餘裕が出來るかしれないと思ひます。そして、只今の私共日本人の生活の實際を眺めますと、不經濟と無駄と煩雜は到るところにあります。それを昔からの仕來りだからといつた、そのまゝうけつぐ樣では、決して改善も發展も出來るものではありません。私共は、時勢を顧みて、何に於ても無駄なことや不經濟なことは、どし／＼善い方に改めねばなりません。そして、この大切な衣食住の改善は、男子の力も必要とはしますけれど、それよりも女子の力は尙更必要とします。言はゞ、これは現在の婦人に與へられた、緊急な問題だと私は思ひます。かく考へると私共の日常の小さなことも、決して小さなことではなくなります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

衛生と經濟と簡便

まづ、衣服の方から言ひますと、一體日本人は着物の數をもちすぎます。或西洋人が日本の婦人に、日本人は大變澤山の着物をもつてゐる、誰でも百枚位はあるのだらうと言ひましたので、そんなに澤山あるものですかとは言ひましたが、歸つて自分の簞笥をあらためて見ましたら、二百枚近くもあつたといふ話があります。日本は、綿入から袷、單衣、薄物と四通りの着物が入ります。その上に不經濟な、融通のきかない吉凶の禮服が入ります。故に私はなるべく、着物の數を少くすること、それには同じ物を何枚も作らぬは勿論綿入をこしらへないで袷ばかりにするとか、羽織も綿入か袷か一方にしてしまふとかもよい事だと思ひますそれに、三枚襲ねなどいふものを着る人もありますがあんなものは實に不經濟な話で、もしそれだけの餘裕があるならば、同じお金でもつと融通のきく方法があると思ひます。又品物を選ぶにしましても、仕立てるにしましても、從來の樣に、唯外見ばかりを考へないで、衣服は何のために着るのかを考へて、第一に經濟で、衛生的で、簡便で、運動にも洗濯にも堪へられるものをしなければならぬと思ひます。

大食は大毒

次に食物でありますが、食物は誰しも美味いものを食べたいのはあたりまへの事ですが、美味のものが必ずしも營養になるとも限りません。又如何に澤山に食べたとて、それが皆體を養ふといふことはなく、人の體の必要は、大體きまつてゐるのですから、それ以外は皆無駄になつてしまふわけです。よく、美味いものを澤山食べなければ、體がわるくなるとか、仕事がつづけられないとかいふ人もありますが、あれは間違つた話で、健康を保つだけの滋養さへとつてゐれば、どんな仕事をしても、決して體を損ふものではありません。八分の腹に醫者いらずと云つて食物は少く食べると、長生する事が出來るとさへ言つてゐる位で、私共

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の實際の經驗から見ましても、食物を少くした時は、腹も頭も具合がよくなります。外國人は、一度に二皿か三皿の料理に、歌留多札位のパンを一二切たべるだけですのに、日本人は御飯だけでもお茶碗に三四杯、その上それと同じ程のお菜をたべます。小いからの習慣ですから、さう急にはこれをなほす事は出來ないがもしれませんけれど、なるべく小食と粗食に堪へられるやうにしたいと思ひます。今日本人の普通の食物のお汁にお豆といふ位は決して粗食ではありません、あれだけで充分の滋養があるとのことです。

家もなるべく簡便に

住居に就てもさうです。これまでの日本の住居は徒らに廣くて、田舍の舊家などに行きますと、何年も開かない樣な室が幾つもあります。外國の話を聞ききますと、都會の中に廣い庭園をとるのはよくないといつて、庭園は郊外において、都會の中には住むだけの家しか建てないといひますが。日本でも近く庭園税が課せられるやうに聞いてゐます。家の作りも、出來るだけ簡便にして、そして餘分の土地は人に貸すとか野菜をつくるとか、いくらも適當の方法がある筈だと思ひます。

戰爭前までは兎角世の中が虚僞の風がありまして無理算段をして人前を飾る例へば身分不相應な家に住むとか、必要にもない女中を使ふとか、借金をしても美服を着けるとか、息子は大學に、娘は女學校に、是非入學させるといふやうな風がありましたが、戰爭後萬事がよほど眞面目になつて來まして以上のやうな見榮張的のことは却て恥しいと覺りすべてが研究的に改良工風を仕樣、又これをすることが知識なる人々のなすべきことだと考へて來たるは誠によろこばしいことと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

田舎の人は幸福

中央部理事　嘉悦孝子

□田舎の美德

ついこの間も會津の高等女學校へいつてお話しをいたした時に感じた事でございますが、田舎の方は見るからに生々として、活發で元氣で、如何にも幸福さうに見えるといふ事でした。そして私のいたしたお話を一言一句も聞きもらすまいといふ樣に、一生懸命に聞いてゐて下さるのを見て、實にうれしく思ひました。私は、地味な、見榮もかざりもない、無心な女學生達の顏を見てゐました、天使とはかういふのを言ふのだらうと思ひました。

それより前、私は東京でかなり澤山の婦人のお集りに出席いたしましたが、それまで自分の學校の生徒ばかり見てゐましたので、やはり熱心に落ちついて話を聞くものとばかり思つてゐましたのに、學校外の集りへ出てみますと、何となしに不安な、ざはめいた、落ちつかぬ心持がいたします。それは何故かといふに、集る程の婦人が皆、自分の服裝と他人のとを比べて見帶は他人と比べてどうだらう、髮の形はどうかしら、後姿はどんなだらうと、一瞬間の間もたえずまはりに氣をとられてゐなければならないからです。それで肝心のお話しなどは、耳に入らずに外方へ流れてしまひます。

そんな風ですから、自然學問一方であるべき筈の女學生でも、いろ／＼の事に氣をとられて、田舎の人が何にも考へないで一心に勉强するやうな事は出來ませ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ん。

「虛往實歸」といつて、行く時には心を空しくして行き、歸りには敎へを心にみたして歸るといふ事が佛敎の言葉でありますが、これは田舍の人にはじめて出來る事で、都會の、色々のつまらぬ事に心をなやまされてゐる人には出來ません。これだけでも、田舍の人は幸福だと思ひます。

□都會と田舍

かう言つても、まだ田舍の方は都會の人の生活を羨しいと思はれるかもしれませんが、都會の人の幸福と見える所は、考へ樣によつては、又大きな不幸だとも思へます。都會では、日常の生活にも瓦斯があり電燈があり、電話があり水道があり、そして色々の物が買手をまつて市に並んでゐます。それで都會の人は不自由といふ事を幼いから經驗しません代りに、自然に不性になり不健康になり、そして物に耐へるといふ力がなくなります。田舍の人は之に比べて、どうしても幼いから不自由がちで、水一杯を汲むにもかなりの力を費す樣なわけですから、不知不識の中に忍耐力が強くなつて來ます。「どんな事でもする」といふ、熾んな、強い意氣は田舍に人と成つた婦人でなくば見出されません。

又、田舍の人は、都會に出なければ充分の學問が出來ないなどゝ考へられる人もあるやうですが色々の本が出來、色々の便利な機關の備はりました今日は、田舍で田の草をとりながらでも勉強する事が出來ます。却て靜かな、平和な自然の中に働いて、その暇々に勉強する方が、喧しい都會で勉強するよりか、その効果も大きいだらうと思ひます。

これまでの婦人はたゞ家にゐて育兒と炊事とさへしてゐればいゝとされてゐましたけれど、今後の婦人はさうではありません。米國あたりでは婦人の着物が大變短く、簡單で、殆ど男と同樣になり、どんな激しい仕事をするにも差支がないようになつてゐます。日本も段々進歩してゆかねばなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

馬鈴薯飯の炊き方

馬鈴薯飯は色白く、米の飯に似て、味亦外米に劣らず。而かも調理方極めて簡單にして、如何なる家庭にても、容易に應用することを得、加ふるに馬鈴薯は栽培簡易にして、素人にても容易に作ることを得、如何なる土質にも能く適し、僅に三四箇月內外にて收穫し、多くの地方に於ては年に二回收穫することを得、而かも其の第一回の收穫期は六七月頃にして、米の端境期前なるを以て食糧自給上効果頗る大なりとす。

(一) 生の馬鈴薯を用うる場合

玆には普通の家庭に於ける場合に付き記さんに、生馬鈴薯を(成るべく大形のものを用うるを可しとす)水にて能く洗ひ(古き薯は洗ふ前に一時水に浸す方皮を去り易し)之を擂鉢又は桶等に入れ、力を用ゐ攪廻して粗皮を去り、尚ほ皮の殘るものは、庖丁にて削り取り、之れを適當なる器具にて米を四角にしたる位の大さに(◇)切り(生馬鈴薯一貫目より切片約三升五合を得)直に水に浸して置き(空氣に觸るれば直に赤褐色に變ずる故)相當の分量に達したる時、水中にて手にて能く揉みたる後水を取代へ、斯くすること三四回にして(能く洗へば馬鈴薯の臭を去る)其の儘清水に二三時間浸し置き(夕飯後切りたるときは翌朝まで其の儘水に浸し置くを可しとす(次に白米一升に付其の切片凡そ一升位を入れ能く混合じ(混合割合は各自の自由なるも前記の割合なれば多くの家庭に適す)之に米と略同量の水を入れて飯を炊くものとす。

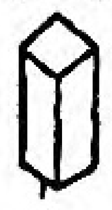
今米一升に馬鈴薯の切片一升を混じて炊く場合には、水を凡そ一升位にて充分なり。是白米は凡二倍以上の容積に炊殖するも、生の薯の切片は水を充分含むを以て、水の分量は米のみを標準として加減すれば足れりとす、尚ほ古薯なれば、豫め馬鈴薯の切片を熱湯に投じ、數分間煮て用うるときは口觸り一層良好なりとす、米の上層に切片を戴せるときは、米飯の如く吹出さざるを以て火を引くことに注意するを要す、先に細かに切りたる馬鈴薯を洗ひたる水中には澱粉を含

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

み居る故、之を殘し置き、綿布にて濾し塵を除き其の水を一時間位靜かに置き澱粉が桶の底に沈み終りたるを待ち靜かに上水を捨て更に新しき水を加へ攪拌し再び澱粉の沈むを待つべし、斯くすること二三回にして底に沈みたる澱粉を取出し擴げて乾す時は馬鈴薯一貫目より澱粉約二十匁を得べし。

(二) 乾燥したる馬鈴薯米を用うる場合

(甲) 馬鈴薯米の製造法（小規模に製造する場合

馬鈴薯を（成るべく大形にして凸凹の少きものを選むを可しとす）能く洗ひ、生の馬鈴薯を用うる時と同樣の方法により皮を去り、之を適當なる器械にて（實物大）圖の如き大さに切りたるものは、空氣に曝さざる樣直に水に浸し置き、相當の分量になりたるとき手にて能く揉みたる後水を取代へ、斯くすること三四回にして別に汲み置きたる淸水に暫時（二時間以上）浸し次に釜に湯を沸し煮立ちたる後薯の切片を笊に入れたるまま湯の中に入れ、絕えず攪廻し浮びたる皮を掬ひ取り、再び湯の煮立ち始めてより約五六分間の後取出し笊のまま湯を切りて莚又は板其の他適當のものの下に薄く擴げ日乾しすべし、日乾中に時々攪廻して早く且一樣に乾く樣注意すれば晴天一日にて充分乾かし上ぐることを得べし。

若し晴天ならざるときは、水中より出すことなく細かに切りたるものを生の儘水中に浸し、時々水を代へ晴天を待つべし（雨天續くときは水一斗につき鹽五勺位を入れたる鹽水に浸し置くを可しとす）斯くして乾かし上げたるものは馬鈴薯米にして馬鈴薯一貫匁より凡そ八九合を得べし、此の場合にも先に細かに切りたる馬鈴薯を洗ひたる水中には澱粉を含み居るを以て（一）の場合に於て述べたると同樣の方法にて取集め乾燥す

(乙) 馬鈴薯米を用ゐて馬鈴薯飯を炊く方法

馬鈴薯米を用うるときは白米一升に付馬鈴薯米凡そ二合五勺乃至三合（約三割强混食の場合）を能く混ず。

馬鈴薯米に對する水加減は其の容量の二倍内外とするを適當とす、卽ち白米一升を飯に炊くには凡そ水一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

升位を入るるを普通とするも、白米一升に馬鈴薯米三合を混じて炊くには、凡そ一升六七合位の水を入れる。

(三) 馬鈴薯飯の經濟上の利益

今先づ簡單なる計算法に依り示さんに、前記の如く白米一升に對し馬鈴薯の生の切片一升を混合する場合に付計算すれば、此の場合に白米なれば約二倍以上に炊殖するも、馬鈴薯の生の切片は炊殖せざるを以て白米一升に生馬鈴薯の切片一升を混じて炊きたる飯は恰も白米一升五合の飯に相當す。(出來上りたる飯に對する馬鈴薯混合歩合は三割三分なり)而して馬鈴薯一貫目よりは切片約三升五合を得べく、馬鈴薯一貫目は共同して産地より購入すれば都市にても二十錢位にて得らるべきを以て、切片一升の價格は約六錢となる故に今白米一升六十錢とし白米一升五合を用うる代りに白米一升に生の馬鈴薯切片一升を用うる場合には二十四錢の利益を得るの計算となる故に、馬鈴薯飯は最も經濟的食物の一と謂ふことを得べし。

處女會中央部より

◎工場巡廻

中央部に於ては「處女の友」を介して本月から節米の奬勵を致しますが、別に東京府下で女子を多數使用してゐます工場に案內狀を出し巡廻講演をすることになりました。九月十九日第一回の申込に應じまして本所押上の富士瓦斯紡績の押上分工場に參りました此處は一千六百十二人の女工が居りますが、其の中一千五百七十九人は地方の婦人であります。次號に詳しく模樣をかきます。

◎嘉悅理事講演

福島縣若松市の招聘に應じ、中央部嘉悅理事は九月十三日同地に出張され「日本婦人の覺悟」に就て講演され、翌三日は高等女學校に於て、主婦處女に對し婦德の修養について御話をなされ、白虎隊の墓にも詣でられ、十四日お歸りになりました。大盛會だつたさうです。全國各地より御申越になれば中央部では都合がつく限りどなたか出演致します。

◎處女會の活動寫眞

棚橋文部省監督官と處女會中央部と相談致しまして、今度處女會の活動寫眞を撮影することになり、九月二十三、四日には、廣島縣沼隈郡山波村及千年村處女會の作業を寫しました。出來ましたならば、お茶の水教育博物館に開かれる生活改善展覽會で試寫をする筈です詳しいことは次號にかきます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

食物と榮養の話（續）

内務省衛生　編

（乙）含水炭素

米は外國米も内地米と其營養價値は同じであります米の他、麥、粟、蕎麥、稗、玉蜀黍、黍のやうな雜穀及び甘藷、馬鈴薯などの芋類は、皆同じ目的に使はるべきものであります。そしてこれらの雜穀及芋類は、我國では皆かなり澤山にとれますから、之を米の代用品とすればよいのであります。

今米一升（五十錢）に相當する溫量を得るには、

裸麥（平麥）	一升九合四勺	代四十六錢五厘に
裸麥（押割裸）	一升五合五勺	代三十一錢に
裸麥（乾燥麥）	一升四合	代三十九錢二厘に
裸麥（敀貝麥）	一升四合	代三十九錢二厘に
裸麥（挽割）	一升二合九勺	代三十三錢五厘に
裸麥（丸麥）	一升一勺	代三十二錢三厘に
小麥粉	一升八合五勺	代三十七錢に
粟	一升一合九勺	代三十三錢三厘に
蕎麥	一升三合四勺	代四十錢二厘に
稗	一升八合二勺	代二十一錢八厘に
玉蜀黍	一升二合五勺	代十七錢五厘に
黍	一升二合二勺	代三十六錢六厘に
甘藷	一貫二十匁	代二十錢四厘に
馬鈴薯	三升三合二勺	代五十三錢一厘に
小豆	一升〇六勺	代二十七錢五厘に

計算してよいのであります。勿論これは二年ばかり前の調べによるのですから、第一お米の値段も五十錢位では到底買はれなくなつてゐます。

小麥粉は皮の部分の挽きこまれた、褐色のものが滋養分に富む樣に、米も糠のついたものがよいので、あまり精白されてしまつたのは、却て滋養分が少くなつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

てゐます。皮の挽きこまれてゐない小麥粉は、色が白くて、細かいから、口ざはりがよく、それからこしらへた麵麭は白パンといひますが、身體のためにはよくありません。西洋人は、その白パンばかりを食べてゐましたため、大變に齒の質をわるくし、貧血になつたといふ事です。我國でも、米をあまり白くしない樣にしたいものです。搗粉とかいふ砂の樣なものを混ぜて搗くことは禁じたいと思ひます。

砂糖は、營養品でもあり、嗜好品でもありますが、必ずなくてはならぬといふ物でもありませぬ。

（丙）脂肪

脂肪には我國にも種々なものがあります。バタ、牛脂、豚脂、魚油などは動物からとつたもので、椰子油、橄欖油、榧油、椿油、大豆油、胡麻油、荏油、菜種油などは植物からとつたものであります。その中で最も値段の安いのは菜種油と荏油であります。けれども、風味の優るところから、胡麻油、落花生油が汎く用ひられるのでありうす。

脂肪は種々な日用の食品の中に幾分かづゝ含まれてをり、又含水炭素とは、體の中で互に相代理しあふことの出來るため、特別に脂肪を多く食べねばならぬといふことはありません。

日本人の食物は、何といつても、含水炭素、即ち米や麥がその主なものであります。

（丁）野菜、果實類

野菜果實類は榮養分を澤山に含んではゐないから、主な食物として使ふことは出來ないけれども、それでもいろ〳〵の大切な成分を含んでゐるし、その上、食物の容積をつくるために大切なものであります。營養分が足りても、其の容積が少いと腹が一杯なつたといふ氣持の去ないものであります。それよりも大切なものは、この野菜は、非常に消化を助けるもので、三四日も青いものを食べないと、必ず便祕を起して胃腸をいため青い顏になつてしまひます。又、料理をする上にも、野菜がなくてはならぬことは、皆さんの知らるゝ通りであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

節米のすゝめ

一、米を節約し代用食物を攝るは國民の急務

一、食糧問題の解決の鍵は各自の手に在り

○外米飯

■長所

一、炊き方が容易い

一、殊にトンキン米は色は黑いが他の外米に比べて美味い

一、內地米に比て一割程殖方が多い

一、內地米に比べて一升で二十錢以上安い

一、外米は至る所米屋でも買へる場合に依ては郡農會等で共同購入斡旋もする

▲炊き方

一、能く磨いだ米を朝の分は前夜。夜の分は朝より水に浸し二三度水を替へ水を切て後釜に入れる

一、分量は內地米一升外米一升水三升の割

一、釜蓋より吹き始めた時蓋を取り水の引た頃火を引き蓋をして蒸す

一、外米の香を除くには極く少量食鹽を入れるがよい（味は付けぬ方がよい

から注意なさい）

○外米を內地米化する法

■長所

外米のみで美味く食べられる

▲炊き方

一、前の樣に磨ぎで水に浸し米一升を釜に入れ沸騰した時內地米の粉五勺を五勺の水に溶き釜の中に入れよく掻き混ぜるそうすれば外米が內地米で天麩羅になつて內地米の樣に食べられる（克く沸騰せぬ中に入ると團子になるから注意なさい）

○麥飯

■長所

一、滋養分が多い

一、麥は何所でも多量に出來る

一、米より二十錢以上廉價い

一、殊に潰し麥、挽割麥は炊き方が容易い

▲炊き方

一、炊き方は一般御存じであるから略す

▲潰し麥、挽割麥の製法

一、潰し麥を作るには丸麥を一夜位水に浸し其れを笊に上て水を切り機械に掛ける

一、挽割麥は乾燥儘機械にて挽く

一、潰し麥、挽割麥を作る機械は手輕で家庭用のものが壹臺三圓位で買へる

○馬鈴飯薯

■長所

一、炊き方が容易い

一、滋養分に富む

一、美味い

一、出來上の體裁がよい

一、馬鈴薯は何所でも出來て價が廉い

▲炊き方

一、先づ馬鈴薯の皮を取り去り成べく細く（飯粒程）切り刻み之を二三時間水に浸し灰汁を除く

一、分量は米一升に馬鈴薯一升（刻みたるもの）水一升の割

一、釜の湯が沸騰せる折に馬鈴薯を入れ次に米を入れて炊けば程よく混ざる

一、鹽味などは付けぬ方がよい

○大根飯

■長所

一、大根は冬に特によい

一、炊きが容易い

一、香氣がよく美味い

一、滋養分に富み消化がよい

一、體裁がよい

▲炊き方

一、先づ大根の皮を去り千切で突き下したるものを四五分以內に刻む

一、分量は內地米一升大根一升水一升の割

○馬鈴薯の作り方

一、種類は食用として白皮種がよい

一、よく乾く所なれば田でも畑でもよく出來る

一、植込は春は三月上中旬秋は八月下旬がよい

一、畝幅二尺株間は一尺位がよい

一、種薯は一個十匁大きなものは二つ三つに切り切口に灰又は石灰を付け置くがよい

一、肥は元肥に施し過燐酸石灰及草木の灰を加へ用ゆるがよい

一、發芽して四五寸延びたとき一二本殘して根本から掻き取る

一、花蕾を出したるときは摘み去る

一、莖葉黃色となれば掘取る（春は六月中旬秋は十一月上旬の頃）

一、掘り取りたる薯は日に乾さずして貯へるがよい

一、莖葉は綠肥になりますから土地は痩せませぬ

一、乾田は空けずに殘らず麥か馬鈴薯の卷植をなさい。

一、食糧問題は現在の急事で又永遠の問題なり

之が解決は日々全國民の努力を要す

愛知縣幡豆郡役所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

漁村處女會員と鮑を採るの記

□三重縣志摩郡塔志島に於て□

天野藤男

▣處女が荒波を泳いで▣

鳥羽の港を發動汽船に乘つて出たのがお午頃、帝國大學の筧先生も御一所でした。『あすこに見えるのが神島です。あすこへ參りますと、磯にゐる處女會員がまつぱだかになつて海に飛び込み、荒波をくゞつて泳いで來ます。こつちから綱を投げますと其を肩にかけて舟を岸に引き上げてくれます』と田中校長が向ふの島を指しながら言はれる。『さうですか、勇ましいですね』

一時間半ばかりで塔志島につきました。周圍六里ばかりの島で、松が青く、濱が白く、近いてみると畫のよう、波の音がざん〳〵と聞える潮音寺にいつてしばらく休んでゐますと『舟の支度が出來ました』と中村村長がお迎ひに來て下すつた。

▣處女六人ドブンと海中へ▣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

濱へ參りますと、もう舟が來てゐます。寫眞師も乘つて同勢六人、外の一艘には處女會員が乘つてゐます波が荒らく舟は木の葉のようにゆれます。見渡すとあちらこちらに大きな岩が海の中にそびえ立つて、其れへ怒濤が打ち寄せ、パッと波が碎けて散るさま恐ろしいようです。

すると、向ふの方に小さな桶がぷか〲浮いてゐます。何だらうと思つてみつめてゐますと、その中海の中から人が浮び出で、桶の中にポカンと何か入れ、また海中に沈みました。

『やつてゐます、あれが海人です、處女會員です』

その中此方の舟に乘つた海人六人めがねをかけ、じゆばんを着たかと思ふ中桶（之を磯桶といひます）をポンと海中へ投げ、つづいでドブンと海中に飛び込みます。

回拔手を切つて處女を追ふ回

その日私共の爲に特に作業をして下すつた處女會員は濱崎まつ子、中村こやす子、中村はな子、中村かん子、藤井こさい子の五人に主婦の山下おいよさんの六人、荒波をくゞつて海底に沈み、大きな鮑をとつて來ては浮び出て、ポンと磯桶に入る。永い人は五分、短いときでも二分位海の中に入つてゐます。寛先生は時計を出して時間をみてゐられました。その代り浮び出ると、息を激しくします。それがヒユー〲と丁度口笛のように聞えます。

『大きな鯛が來ました。早く早く！』

船頭さんがおいよさんに竹竿の先に針のついた棒を渡しますと、ドブンともぐつてゆきます。その中串さしになつた鯛をさしあげて、おいよさんは元氣よく浮び出ました。鯛が横つ腹を刺されてビク〲跳てゐます。

私も興津の濱育ち、泳ぎは心得てゐます、處女會員と一所に鮑がとりたくなつたので、まつぱだかになつて海へ飛び込みました。寛先生や中村村長もおどろきましたが、處女はもつと〲おどろいたようでした。その中處女の一人がポカンと浮び出ましたので『さあ一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

所に泳ぎませう』と後ろから肩に手をかけると、女波が驚いて逭げ出します。―男波が拔手をきつて追かける。大波が寄せる。實になんとも言へませんでした。舟がゆれるので寫眞をとることが出來ず、殘念でした。
『あなたが、處女と一所に泳いでゐるところが寫したかつた』
と筧先生があとで笑つて仰言つた。

■あゝ漁村の貴婦人■

鮑もだいぶとれ、魚も澤山つき刺しましたので、一同舟に上り歸り途につきました。波は益々出で、舟がひつくり返りさうになります。みると今の處女がじゆばん一つになつて勇ましく舟を漕いでゐます。『なに櫓も少々は使へる』と私もまけん氣で、
『船頭さんちよいと私に漕がして下さい』
處女と列んで漕ぎましたが、何しろ波が荒いのでヘト〳〵になりましたが、がまんして漕ぎました、處女は笑つてみてゐました。そのお影で右の手つ首が十日間ばかり痛みました。弱い船頭です。

岡に上つて記念の爲に寫眞をとりました。聞けば此村の海女は七百五十八名、その中處女會員が二百四十名、一人平均二百圓を稼ぎますので、全體で四萬八千圓、寒中鮑取の出來ませぬときは豐橋、靜岡、岩手などに出稼ぎします。

身體は丈夫で色は赤く黑く、乳房も大きく、磯桶を頭に戴せますので、姿勢もよく、目方は十八貫位、實に立派です。しかもみな心根が優しいと申します。私は漁村の貴婦人であると感じました。よく運動しますので長命を爲し、子供も丈夫に育ちます。青年の體格もよく、徴兵檢査の成績は尤もよろしいと、是は聯隊の司令官からきゝました。夜は夜學もしますれば、作法の講習會も開きます。處女會の出來たのは明治四十三年ださうです。

その日丁度青年處女聯合大會がありましたので、私は一場のお話を致しました、お話を了へてお寺に歸り處女のとつた鮑やすゞきで晩のごはんを御馳走になり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ました。その味は今まだ舌に殘つてゐます。

回明月の夜の盆踊り回

ごはんをすまして浴衣に着かへてお寺の庭に出ますと滿月が中天に光つてゐます。丁度けふはお盆の十六日、私はしみ〴〵と明月を眺めてゐますと、校長さんが

『是から村の靑年と處女が盆踊を致しますので御覽を願ひたい』

平和な離れ小島の盆踊り！　私は胸を跳らせて濱に參りました。寛博士も『是は珍らしいみたことがないお伴しよう』濱へ參りますとコトンコ〳〵と太皷の音近よるともう人の山、身動きも出來ませぬ、高張提灯が二つ、其下に櫓を設け六十位の音頭取の爺さんがいゝ聲で歌つてゐます。踊り子は二三百人、まるくまん圓く濱邊に輪をかいて、手振足振面白く跳つてゐます。

むすめおつるとかゝれた文字が……

と扇子つかひながら節面白く音頭取が歌ひますと、踊子は、コリヤヨウ、ヲンヨウ、ヲンヨウ、イヤセと揃つて意氣に囃します。そこを寫眞にとりましたのが口畫の通り。

一天隈なく晴れ渡つて月光皎々まひるをあざむき、波は靜まつて、ざぶん〳〵と平和の曲を奏でます。スー〳〵と星も流れます、天上の星様も下界の踊に興が乘つてヂッとしてゐられないでせう。

『逢ひたい見たさに兩手を合せ……』

聲が變つたと思つてふり返つてゐますと、七十位のお婆さんの音頭取り、五十年前にはよい娘の踊り子だつたでせう、昔取つた何んとか、それは〳〵よい聲でした。寛先生は卽座に

大築海を前に塔志の盆踊り
　月の女神の光仰ぎて

と一首およみになりました。

廻り燈籠のように踊り子は順々に廻ります。そろそろ假裝も始まりました。石童丸も出てくれば、毛谷村六助も出て來ます。赤い簪さした六十八歳の處女の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あとに、丸髷に結つた十二位の花よめさんも來ます。芝居そつくりの忠臣藏の勘平さんも出て來ました。その中ズラリと列んだお角力取、髮をチョン髷に結ひ波に千鳥のそろひの浴衣を着流し、お尻の上に兵兒帶をだらりと締め、肩に手拭をひつかけ、扇子片手にヨーイヨーイヨーイヤセ（二の囃し）と意氣に踊つて來ます。

『お丶お角力さん意氣ですな、青年に角力取はい丶』と申しますと村長さん

『先生是は處女會員ですよ、さつきの處女もゐます、それコレが……』

『エッ』

よくみますとなるほど娘さん、その中の一人をのぞいたので、娘はにつこりと笑ひました。その横顏に月の光がさして！

夜は更けます、月は冴えます、叢の虫も聲ふり立て丶啼ぎ合ひます。私は村長に奬められ、櫓の上に登つて月を仰ぎながらこの平和の島の盆踊を讃美しました。

工女より

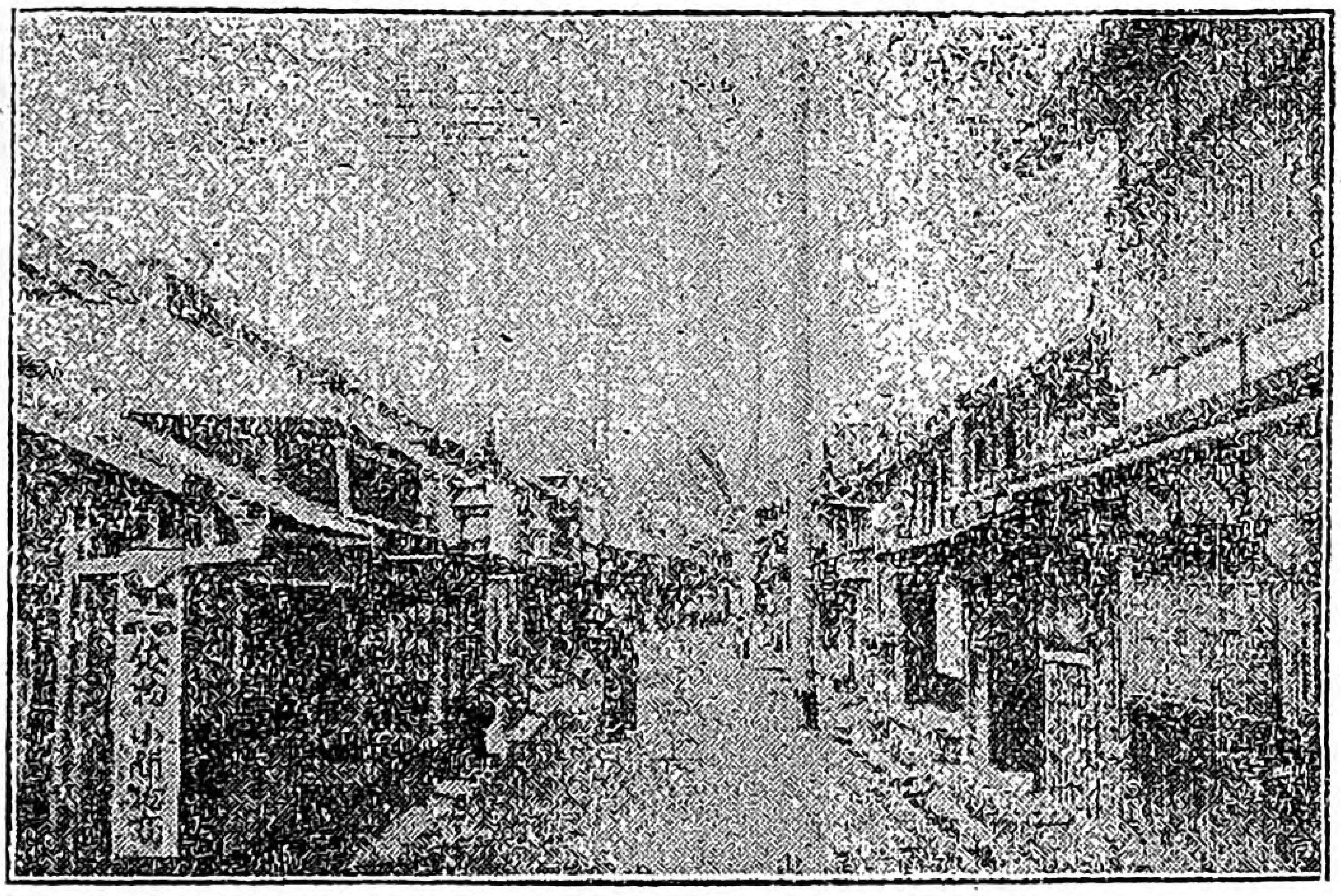
三河國寶飯郡御津村下佐脇井澤製絲場内

田口千代

記者先生樣御健ですか、私は御誌を無上の友にして毎日樂しく暮して居る者です。私の生れ故郷は岐阜縣吉城郡古川町ですが、今は父母の御すゝめにて三河の豐橋の在下佐脇の井澤製絲場に工女として、毎日孜々として働らいてゐます、雨の日にも風の日にも遠い故郷を眺めては、そぞろ涙にむせぶ事は度々です、私は悲い不幸な身に生れて來たものだと思つて淋しく暮して居りましたが、友達の雪子樣やあや子樣の讀んで居る「處女の友」を愛讀する樣になつてからは、毎日樂しく暮す樣になりました。今後は皆樣を誘つて愛讀者を增し、井澤製絲場に處女會を創めたいと思つて居ます。記者先生を首めとして、誌友の諸姉樣よろしく。

◎記者曰く、工女は孝女です、こういふお便りがうれしい。工場と農場とは姉妹です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



高野山上市街（三千尺の山上）

高野山上の婦人會

月夜の登山

八月七日の夜郡役所の平井さんと月を仰いで高野山に登りました高野山は皆樣御存知の通り今から一千年程前弘法大師の開基された眞言宗の本山で日本でも指折りの名だかい靈山となつて居ります。山の高さは約三千尺、麓から頂上まで二里半ばかり、お寺は山の上にあるのです。

夕方にかけて山に登る人もありますが、八時近くから登つたのは私共二人でした。提灯を用意しましたが月の光りで灯の心配もない只樹影に入りますと暗くなりますが、月光がチラリ〳〵洩れますの尙趣が深く、

『活動寫眞によくこういふ所がありますね』

と申して笑ひました。

蟲の樂隊きゝながら

叢で秋の蟲が流れるように鳴き合ひます。谷川の流もざん〳〵と聞えます。こんな趣の深い登山は始めて味ひました。『千草や八千

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

和歌山縣伊都郡婦人會々則（大正八年八月七日成立）

第一條　本會ハ伊都郡婦人會ト稱シ事務所ヲ伊都郡郡役所内ニ置ク

第二條　本會ハ郡内各町村婦人會ノ相互ノ連絡ヲ圖リ其ノ統一誘導ニ勗ムルヲ以テ目的トス

第三條　本會ハ郡内各町村婦人會ヲ以テ組織ス

第四條　本會ハ第二條ノ目的ニ達セシカ爲左ノ事業ヲ行フ

一、講演會、講習會ノ開催及視察旅行
二、女子補習教育ノ奬勵
三、民力涵養、風紀ノ改善並民風作興ニ關スル施設事業
四、體育ノ奬勵並ニ衛生思想ノ向上ニ關スル事項
五、家庭改良、地方振興並婦藝等ニ關スル展覽會ノ開催
六、町村婦人會中成績優良ナルモノ及ヒ會員中他ノ模範トナルヘキ者ノ表彰
七、町村婦人會ニ於ケル事業ノ援助
八、其ノ他適當ト認ムル施設事業

第五條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長　一名
一、副會長　一名
一、幹事　若干名
一、評議員　若干名

第六條　會長ハ郡長ヲ推戴シ副會長ハ會長之ヲ囑託シ幹事ハ會長之ヲ任命ス評議員ハ各町村婦人會長ヲ以テ之ニ充ツ

第七條　役員ノ職務權限左ノ如シ

草亂れ咲きて』二人は思はず秋の歌を歌ひ出しました。『ほろ〳〵と鳴く山どりの聲聞けば母かとぞ思ふ父かとぞ思ふ』こんどはさつま琵琶に變りました。

『女人堂まで一里××町……』月の光で道しるべをよむ。

『もう半分來ましたね』

『幾時頃頂上へつきませう』

『十一時ですかね』

月は中天に冴え渡つて二人の影が濃く映ります。あたりはシンとして蟲の音が淋しい。

チラ〳〵お星のように灯がみえる。茶屋ださうです。近くにみえてなか〳〵遠い。まだ起きてゐたので腰かけて休みました。

『大汗のあとの清水の味はほんとうに甘露です。』

こんなに切り開いた路でさへ疲れるのに、千年も昔、こゝを切り開かれた大師のお力の偉大に感動せずにはゐられません。

ありがたや高野の山のいはかげに
大師は今におはしますなり

おいしい精進料理

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

會長ハ本會ニ對スル一切ノ事務ヲ總理統轄シ會議ノ議長トナル
副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之カ代理ヲナス
幹事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス
評議員ハ會長ノ諮問ニ應ヘ本則第十一條ノ事項ヲ決議スルモノトス

第八條　本會役員ハ總テ無報酬トス

第九條　本會ノ事業ヲ翼贊スル篤志家アルトキハ會長之ヲ贊助會員ニ推薦スルコトアルヘシ

第十條　本會ハ毎年一回評議員會及總會ヲ開クモノトス但シ必要アルトキ又ハ評議員半數以上ノ要求アルトキハ臨時ニ評議員會ヲ開クコトアルヘシ

第十一條　評議員會ニ付スヘキ事項左ノ如シ
一、經費ニ關スル件
一、事業ニ關スル件
一、會則變更ニ關スル件
一、其ノ他必要ト認ムル件

第十二條　評議員會ハ評議員半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス但シ同一事項ニ付キ再回招集スルトキハ此限ニ在ラス

第十三條　評議員ノ決議ハ出席人員ノ過半數ヲ以テ之ヲ定メ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニヨル

第十四條　總會ニ於テ爲スヘキ事業左ノ如シ
一、講話及諮詢
一、表彰
一、諸般ノ報告
一、其ノ他必要ト認ムル事項

第十五條　本會經費ハ各町村婦人會ノ負擔金及其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第十六條　會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
收入支出ハ會計主任ニ於テ會長ノ決裁ヲ經會長名ヲ以テ執行スヘシ會計主任ハ幹事中ヨリ會長之ヲ命ス

女人堂についたのが十時半、明治五年迄は女人禁制の山の掟だつたので女人は此處まで登つて來て此處で大師を拜んだのださうです。ありがたい佛法とは申せ、どうしてあらたかな女を入れなかつたものでせうか。然し今では昔の笑ひ話となりました。

龍泉院といふお寺の門はもうしまつてゐました。敲きますとお小僧さんが出て來まして案內してくれました。立派なお寺で郡役所で電話をかけて下すつたので大變都合がよくありました、山から湧き出るたつぷりしたお湯に入つて、それから旅便りなどかいて床につきましたのは十二時過ぎでした。

丁度お盆の十六日でうと〳〵としてゐますと、勤行の鉦の音に交つてお經がのどかに聞えます。〜飛び起きて庭に出ますと杉の木立から丁度朝日が昇ります。冷氣が肌に泌みて、何とも言へない颯爽の氣がします。

それからこゝの精進料理のおいしさも忘れることが出來ません。

山の上に四千人

高野山と申しますのは山の名でありますが、この山の上の町の名も高野山と申します。高野村の一部落となつてゐます。戸數三百七十八戸、人口四千二百五十八人に達し、料理屋もあれば、郵便局もあれば、中學

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

校、大學校もあつて、立派な町です。寺域は周圍十三里、お寺は百三十もあると申します。金剛峰寺は總本山、宏大なものです、金堂では丁度勤行をして居りましたので、中の金の柱も見ることが出來ました。石童丸で名高い苅萱堂もみました。弘法大師が唐から投げた錫杖が枝にかゝつたといふ由來のある松もみました。六時の鐘つき堂もみました。大門は高さ二十三間。ばすらしい大きな建物です。

それから小學校へ參りました。小高い閑靜なゝ場所に建てられてあります。高野山部落の兒童のみを收容し、二百名ほどの兒童がゐるさうです。授業中でした。冬は雪が多いので冬の休暇の代りに夏授業をするのださうです。信仰にゆかり深い土地ですから生徒の感化力も強いさうです。校訓は質素、深切、勤勉―。

山上の婦人會

所で皆さんに特に御披露したいことは、此處に婦人會の出來て活動してゐることです。前に申し上げた如く、女子の這ることの出來ない土地でした。其處に婦人會の設けられたといふことは、非常の進歩と云はねばなりません。創立は大正七年の六月、會員は九十名、主旨は

一　母と學校との連絡

二　卒業女子と學校との連絡

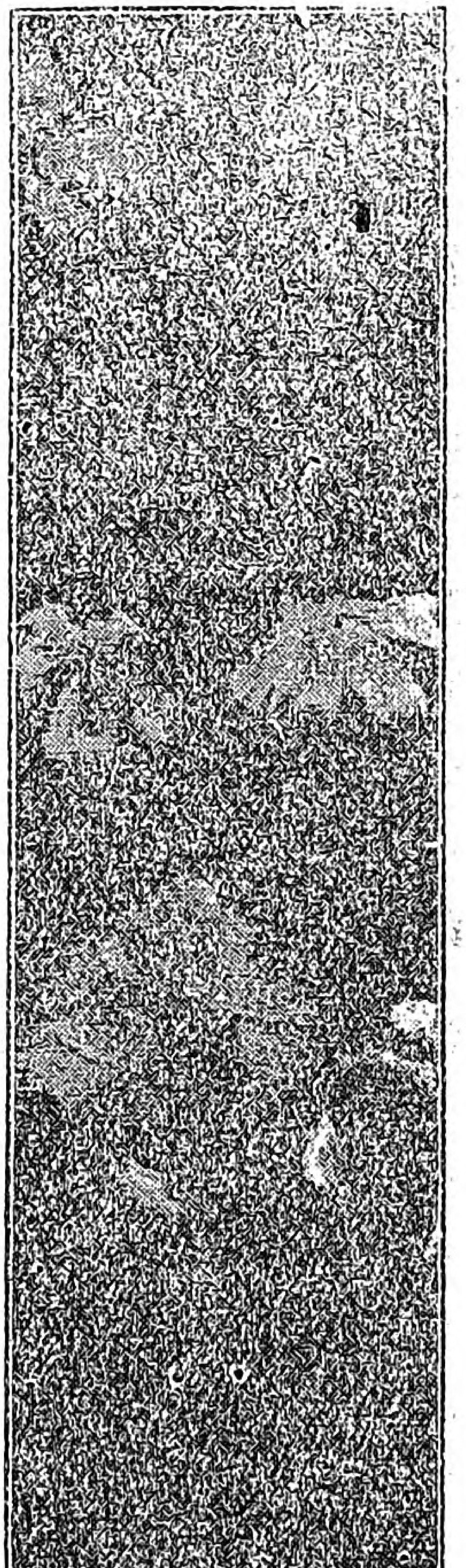
三　修養矯風娛樂

既に四回大會を開き、十日にも寄り合といふことでした。軈て會長、副會長、幹事有志などが大勢學校に見えられましたから、校長敎員の方々と御一所に地方處女會のお話など致しました。靈山を中心にして神聖なる婦女修養の燭光が輝き渡るようになりたいものであります。

腹を立てるは足らはぬからと
思ひ直せば氣がらくな
細いみちでもわれからさげて
人を通せば氣がらくな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ダリヤの花



藏田清子筆

北海道より

＝僕の田園生活＝

内務省囑託　留岡幸助

□

僕の農場にはいろ／＼のものがゐる、まじめなものも居れば、奇人も居り、學者も居れば、土百姓もゐる。雄辯家も居れば、手の達者なものもゐる。小作の中に踏青となんよべる小作人あり、俳句に堪能にして教師も生徒も小作人も毎日添削を乞ふてゐる。その宗匠とは誰あらう、左に紹介する俳句の主人公踏青である。

農場や三千町歩風薫る
風薫るゆたかに馬に召されけり
門口で馬の手入や蚊喰かな
夕立の晴れそこなうて暮れにけり
夕暮や蚊柱の立つ谷地の中
雨きらふ天然林や時鳥
默濤や夕づゝ暗き若葉陰

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

□

僕の農場に教育主任で元同志社大學に居つて、キカン氣で熱烈で眞面目の一家族長がゐる。先生時々日本畫をかき、洋畫をものし、俳句もまねる、ときになか〳〵面白いのがある。其一つを御披露しよう。

大熊の爪あとすごし蝦夷の森

北海道の大森林に入つて千古不伐の深林をみなくてはこの句はわかるまい、熊が虫や蚊のうるささをさけて大木の枝の股に蹲つてゐる。名に負ふ百五十貫の大熊をかゝへてのぼるのである。その時ジヤツクナイフで切りさつたように熊の爪跡が樹皮にのこる。その實景をよんだのがこの句である。

この教師の細君に又三十一文字の出來る人がある。この人も貞淑の人、をちついたみるから信用のをけさうな人で、主人が句をよめば君は歌をよむ。近什の一二を紹介すれば

うつ〳〵とねむりそめしと思ひしに
早や百鳥にをこされにけり

是ば子をもつた親の眞情である。殊にももどりといふのは「惠みの谷」に來てみなければわからぬ。この鳥は六月から七月にかけて玉をころがす如く鳴き八月になるとどこかへゆく渡り鳥である。この鳥が樹林にとまり、或は家の棟にとまつて朝は二時半から歌ふ。實になんともいへない。

□

この婦人がまた今年子供をもうけた。これが二人目である。

年々に惠みたまひし幼な子を
育てゝ神にさゝげまつらむ

又教師の一人で「惠みの谷」の朝夕を感謝しつゝあるものがある。その人の近詠に

ありがたや惠みの谷の朝夕や
天つみ國をこの世ながらに

所が先生が句をよむから生徒がまねる。生徒の一人に大めしを食ふものがゐる。彼は豚に餌をやるのと教師の子供を守するだけが仕事であるが、彼の句がまた面白い。

夕立に子守あはてゝかへりゆく

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

又教師の子供の一人に貞二といふ子がある。彼はやまめといふ魚を釣ることが上手で、特に六月から九月にかけて盛んにやまめをつる。やまめ釣は沙名淵（農場のある所の名）の三娯樂の一である。貞二の句に

晝休みけふは川へと急ぎゆく

□

「惠みの谷」の中に神よりうけし恩寵のかず〳〵のあるその一つは、清泉の湧くことである。その泉は一間四方の桶に湛へていつも水は溢れてゐる。何人もこの水を飲んで「惠みの谷」なる所以を知らぬものはない。あまりに味のさはやかさに井戸籠の側に表札をかけ次の歌をしるした、そをごねん入りに彫刻してある。

大神のめぐみたまひしこの清水
酌みてぞ世々に德をたゝへよ

僕の居所は「惠みの谷」の入口より凡そ五丁、右手の丘の中腹にある。名けて樹下庵といふ、六月から七八月頃にかけて向ふの谷を盛んに鶯がなく、自然と左の如き駄句が口をついて出て來る。

うぐひすの鳴く音うれしき丘の家

□

三四年前のことであつた、秋の名月を「望みの岡」の林の中で眺めた。その日は岡の枯損木を切り仆し、寢木を片づけ一間も二間も積んで幾ケ所にも火をつけて燒いた。その夜あまりのうるわしき月なるに、同輩相携へて岡に登つたところ、晝焚きつけしその枯損木がまだ燃えて居つた。と同時に樹の間をもれて名月が輝いた。林はシンカンとして底氣味わるいほど靜寂であつた、月はすみ、人の心も亦すんで、自づと一句が胸に浮んだ。

木の間もる焚火のあかり消えやらで
空高くてる月をみるかな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

湖の傳説

片葉葦

畠山敬子

◉

越後の國、直江津の近くに、五智といふ河ぞひの宿場があります。海に近く小山があり、古い欝蒼たる木の間から、聖武天皇の御代に建てられたといふ大伽藍が見えかくれてゐるといふのが、此地の有様であります。この五智の國分寺のほとりに、鏡ケ池といふ池があります。四方は森で晝もなほ薄暗く、夏は青い菱の花が、その靜かな水の面を被うて、夢のやうに白くさきいでます。その水の美しいこと、秋、空のすむ頃は、雲の影さへ明かにうつります。この池のまはりには、どこの池にもある樣に、春が來ると葦が所せまい程、青々と芽をふきます。そして不思議なことには、葉が皆莖の片方にしか出ません。これを土地の人は片葉葦とよんでゐます。

◉

今は昔、或一人の尊い御僧が、五智に來て淋しい日を宿房に送り迎へられた時のこと御僧は或日この池の汀に立たれました。その時、水鏡に寫つた自分の姿を、つくづくと眺めて、これをそのまゝ繪にかきたいといふ願

活きた學問

救はれた娘

＝萬朝報から＝

府下大久保村の婦人矯風會慈愛館に收容されてゐる七十八人の娘達の羨望になつてゐる娘がある藤田およし(二二)と云ふ。

◈およしは　北海道札幌の生れ、父親が酒家で彼女は早くから土地の製紙會社の工女になつた、東京青山の某家に女中奉公してゐる友達から都の便りを聞いて幻想に驅られ、彼女が都へ憧れて來たのは大正五年の春であつた。頼つて來た友達は青山と許りで居所が判らない、尋ね倦むだ彼女は

◈生垣から、電燈が淡く漏れる或家の臺所に立つて『私を女中に使つて下さいませんか』と頼むだ、其家の主婦はおよしが上京した事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ひ起されました。
御僧の姿は、その日から毎日この池のほとりに見えましたが、或時の御姿は尊く、又は悲しく、又は淋しく、日毎にその姿はかはつて見えますので、我ながら『どういふ時の姿が自分の眞の姿なのであらうか、毎日かうしてゐる中に、これこそ眞實に我が姿だと思はれるのがあるにちがひないそれをそのまゝに描き殘したいものだ』と思はれました。
ところが或日のこと、御僧はいつもの樣に、此池に寫つた自分の姿をじつと見入つてゐられると、何所からともなく、言ふにいはれぬ微妙な笛の音が、靜かな池の面を漂うて來ました。流石の御僧も、水鏡から目をはなして音する方を見られると、そこに、對岸の葦の生え茂つた中に、一人の美しい乙女がにこやかに笑まひながら、葦の葉を摘んでは笛のやうに吹きならしてゐます。その花の樣な唇にあてた葦の葉から流れ出る音の美しさ！　夢みる樣なうつとりした快さが、御僧の心の奥の奥まで、しなやかに流れこみました。

四

御僧は、その音に聞き惚れて、ぼんやりとして其處に立ちつくされました。やがて、ふと心づかれると、何時の間にか、まはりの森の木蔭が薄暗くなつてゐるのに驚いて、宿房へ歸られましたが、今迄凪いでゐた心が、

情を聞いてくれ〴〵も戒めて、彼女を直に赤坂新町の婦人矯風會へ送つた。矯風會にゐた彼女は眞面目に働く好い女中と謂はれて、忙しい一年を無事に過ごした。或日友達を訪ねに

◈外出した　およしは丸の内鐵道院官舍側で客待してゐる車夫に誘拐され、神田三河町の裏長屋の二階に其男と夫婦氣取りで暮して居た。半月許り經つて、およしは飄然と矯風會に歸つて來た。散々玩弄物にされて危く淫賣屋に賣飛ばされる所であつた、およしは更に矯風會から

◈大久保の　慈愛館に送られた、昨年の一月である。館長ペンロット女史に感化されておよしは自分

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

急に波立ちはじめた樣な、惱ましさと快さとを半々にして味はれましたつい昨日まで、一心に自分の姿を見る事ばかり努めてゐられました御僧の心と瞳とにともすれば、思ひもよらぬ幻の影がうつる樣になりました。
幻は、光の玉の樣に、ぱつとあたりを輝かして、御僧の前近くよつて來る。その中に、妖艶な、恐ろしい程に美しい女が、立つてゐる、手には葦の葉をもてあそんでゐる。それを唇にあてゝる、と、何者の音樂よりも微妙な音がひゞく、乙女は物言ひたげに、御僧の方をじつと見てゐる。御僧はつとして、あはてゝ手を宙にせはしく振りながら、目前の幻を消さうとする。その一夜は、こんな惱ましい、幻とも夢ともつかぬ中に、一眠りもせずに明されました。御僧、は何日かの間、考へぬき、苦しみぬき、惱みぬかれましたが、その最後に、心の底の底から、尊い強い、何物にも惑はされぬ心が湧き出で、、毅然として立ち上られました。
『今こそ眞實の我が姿を見られる時が來た』と獨語して、ゆたかに微笑されました。（以下次號）

口碑傳説を募る

土地に傳つた物語りや言ひ傳への中にはずいぶん妙なこともあり、今の時代に中りうべからざるものもありますが、秋の夜長のつれづれ話には面白いものです、皆樣のお村の傳説を知せて下さい。

の輕卒を覺り能く館則を守つて模範とまで謂はれ、閑さへあれば讀書や習字もする樣になつた此殊勝な娘を熟と視て居た或未亡人が、自分の甥の嫁にと懇望したベンロット女史の悅びは怎麼であつたらう『式服は一切嫁入先から送つてくれましたが、娘には◈婚禮の日まで知らせませんでした。』恁う言つて、女史の眼には神樣に感謝の淚が輝いた。およしは八月の終りの暑い日、生れて初めて着た紹縮緬の裾模樣の花嫁姿艶かに、廣島に醫院を開いてゐる資産家の令息山田義量(二九)氏に芽出たく嫁いたのである。

渡る世間に鬼はない
人を見たら泥棒と思へ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

吃りの學校

◆伊澤樂石社々長のお話し◆

婦人記者

吃りは性來のもので、治らないものだと思つてゐられる人もありますが決してさうではありません。記者は或日吃りの學校樂石社に伊澤末五郎氏をたづねて色々のお話しを伺ひました。

吃りは性來ではない

吃りは啞とはちがつて、性來ではありません。大抵子供の　吃りの眞似をして居る中に、自分も本當の吃りになつてしまふので、それをそのまゝにしておくと、年と共にだん／＼とひどくなつてゆきます。けれども、啞でさへ聲を出す樣に出來るのですもの、吃りの治らないこふ事はありません、樂石社ではさういふ不自由な人たちを、親　に敎へ導びいて、吃りを治してゐます。吃りにはいろ／＼ちがつてゐますけれど、大抵はカ行とか、ダ行とか、ラ行とか、さういふかたい音は吃るのです。そして、吃りの人は、何でも物事をおそれますし、氣がいらいらして來て、癇癪になつたり、怒りつぽくなつたりします、そのために、吃りの人は大抵體がよわいのです。

吃りを治すには

私が行きました時は、丁度授業の最中でしたので、先生に御願ひして、授業の實際をみせて頂きました。初め拜見したのは、稽古を初めてから、まだ一週間しかたたないといふ組でしたが、三十人あまりの中に、若い女の人も三四人ゐられて、皆大變に熱心に眞面目に稽古してゐられました。

最初は、皆が鏡をもつて、先生の口の形と、自分の口の形と比べて、音を出す稽古をさせます。吃りの人は、息が小さくて短いのですから、なるべく長く深く呼吸をする樣に氣をつけさせます。それから後は、敎科書によつて、ゆつくりと、長くつゞけて讀んだり話したりする事を、練習させます。さうすると、大抵三週間、熱心な人は二週間位ですつかり普通の人と同じになります。けれども、これも他の病氣と同じなので

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

すから、よほど氣をつけなければ、又元にかへります。夏のあつい頃とか、春あたたかくなる頃とかには、よく、吃りがあらはれるものださうです。私が參觀しました時、一人の若い女の方はお稽古の傍々立つて、自分の吃りで苦しんだ經驗談を次の樣になさいました。

　私が吃りになりましたのは、六七つの頃に、吃りの女中がゐて、その眞似を時々したからです。小さい頃にはそんなに不自由とも思ひませんでしたが、小學校へゆく樣になつてからは大變に苦しみました。女學校にいつてからも、五年間先生は一度も私を指し下さいませんで、友達などから、よく、貴女は吃りですねなどといはれると、身を切られる樣に辛く思ひました。理科の時間に、先生の寒暖計を持つていらして、この度盛が……」などと仰有ると、はつとして、自分の事ではないかしらと氣をまはした位でした。……云々

吃りと婦人

　今、日本の婦人の吃りは千人について五人の割合しか居りません。日本ばかりでなく、どこの國でも、男子よりは少ないのですが、これは、何か自然の調和ではないかと思ひます。先に言ひました樣に、吃りは性來のものではなくて、小さい頃に人の眞似をしてなるのですから、母親がもし吃りならば、その子供はすつかり吃りになつてしまふのです。よくこんな事はあります。それから、吃りと體の分泌物とは大變密接な關係のあるもので、吃りの人が何か氣を張つて言はればならぬ時は、きつと咽喉がこはばつて、汗が出たり、涙が流れたり、鼻汁が出たりします。又或人は唾液が出なくなるのもありますし、殊に女の人は乳がとまつてしまひます。これが度重りますと、その子供は自然と營養不良になつてしまふわけです。それで、婦人の吃りは、男子の吃りよりも、もつと子孫に對して、大きな影響を及ぼすわけになりまするのであります。

　それに、家でも學校でも、吃りの癖をつける助となる樣なことを時々します、それは、子供が何かを言ふ時に、一度吃ると、もう一度言ひ直してごらんと言ひます、子供は又吃る、もう一度と催足する、尚苛々して吃る、あんな事を何度もしてゐると、本當に吃りになつてしまひます。そんな時には、一度きりで止てしまはねばいけません。

然しおしやべりは困る

　皆樣の中には吃りの方はないことと思ひますから、こんな心配は無用と思ひます。然しあべこべにあまり口が達者なものも考へものです。昔の聖人も「君子は行が敏くつて口は寧ろ下手な方がたふとい」と仰言いました。若い女のぺちや〳〵するのは、吃り以上にみにくいものです。口數をあまりきかず。いふ時にははつきりいふのがよいのです。然し若しみなさんのお友達なりお知り合ひに吃りの方がありましたなら樂石社で直していただきなさい。それから氣をつけて吃りにならぬようにすることは無論のことです

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女哀話

都にあこがれて（其の一）

白雲生作

夕のごはんが濟んできみ子が茶碗お膳などを洗つてゐると、二三軒先の五平爺が遊びに來た。
『五平さん、いつ歸つたの、えらいお早うがした』
五平は椽側に腰かけて東京見物の話を始めた。
『さあお敷きなさい五平さん』
主人の泰次の息子の嫁のおさだが座蒲團をすゝめる。子供たちは電燈の下で書物を開きおさらひしてゐる。
月が登つてゐるのであらう。葡萄棚の影が庭先に映つて、叢に鳴く秋虫が淋しい、稻妻が光る。
『泰さん、東京はにぎやかでな、儂やたまげたゞあ、何せ、東京つていふ所は道をまちがへるとそれつきりになるつて前から聞いてゐたんでな、作左衛門爺としつかり手をにぎりこうして歩るいたゞあ、そんで宿屋へ歸つて來ると、右の手がヱラク痛いつけだよ、……是が東京の畫圖でやす……それから是はつまらねいものだがあの金吾さんとおけいちやんにあげて下せい』
『およしなされ、左樣か、それはおほきに』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

その中近所から女房のおふさも、蠶の勘定にいつた伜の茂夫も戻つて來る。めい〳〵に五平と挨拶して、それからひとしきり東京見物の土産話しに華が咲いた。
『叔父さん、おの淺草つていふ所にぎやかかい』
『あの日本橋通りて、この通り？』
金吾とおけいは、讀本の挿書をひろげてしきりに聞いてゐる。
『何せ馬車が通る、自働車が通る、電車が通る、うろ〳〵しちやゐられやせんな、日本橋なんぞまるで異人の町のようでやすせ、三越はお城ですせ、儂途中で作さんと迷つてしまつて困つただあ、えゝやつとさがしただが、何んとかいつたあの、エレベーターとかいふものにのつてゐると、ズーとひとりでに上へゆくだあ、同じ人間に生れて、こんなにぎやけいとこにゐる人もあるかと思つたら、百姓いやになつただよ』
『やつそうでねえさ、五平どん、儂等もうこの年になつちや第一あぶなくてなあ、ぐづ〳〵していると電車に轢き殺されちまふ……』
娘のおきみは先刻から洗ひ桶しながら一言もきゝもらすまいと耳を欹てゝゐた。おきみはとつて十八、この長女ですなほではあるが、二三年前町の親戚へ手傳にいつて居つたころから華美ずきになり、時々考へ込んでは沈んでゐることもある。ごく内氣のくせに、都の賑やかなところが好きで、いろ〳〵の雜誌なんぞよんでは、都にあこがれてゐる風情であつた。ところへ去年の暮に兄が嫁をとつてから、嫂とときどきいさかひなどすることもありぼんやりとして、仕事が手につかぬ様子もみせてゐた。然し年頃の娘にありがちのことゝ、兩親も大目にみて居つたのである。
その日の五平の東京見物の話はおきみの胸に電氣のように響いた。おきみの耳に誰かが『東京へ、東京へ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

と誘ふような氣がした。
『そう忘れやした、あの新田のおはるさんな、あの娘に途中で會ひやしたよ、あの上野公園でな、儂等動物園を見にゆきやしたら、洋傘さして可愛らしいお孃さんをつれて向ふから來るでやす、そんなことは知らねいから作さんと歩るいてゐやすと、その娘が儂の名をよんだでやす、はじめはチッともわからなかつたがそれが泰さんおはなつ子さ、お前エライ立派になつただあなあ、といひやすと赤い顔して洋傘で顔をかくしてゐやした、何でももう一人四十位な奥さんがゐやした、小間使とかになつてゐると聞きやしたが、やつぱりさうでしたやあ、奥さんのお伴して遊んでゐたでやす』
といつてポンと煙管をはたき、『あの家のおきみさんは？』
『はあ居りやす、瀨戸で何かしてゐやすだ』
おきみは父親に呼ばれて來て五平と挨拶した。
『あの新田のおはるさんがの、よろしくつてしてやしたよ、今も話したでやす、エライきれいになつてお孃さんをつれての、お前さんのことも聞きやしたで、よろしういふておくんなといつてやしたよ、エライ出世したものでやす』
深い意味もなく話したおはなの話が、きみ子にとつては胸をかきむしられるよりつらかつた。彼女はむら〱とするほどに堪へがたい氣分に襲はれた。今まで聞いた東京の淺草、三越、日本橋、おきみの心はもう都の空に馳て居つた。その上に遊び仲間の此間まで一所に草刈りもすれば、田植もしたあのおはなの近い消息を目のあたり聞いて、羨ましさと、ねたましさとが自分の運命観とこんがらかつてもう堪られなくなつた。
おきみが家出したのは其から三日目の朝であつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

三重縣多氣郡西外城田村

人口二千七百七十六人　戸數三百二十九戸

生業 ｝農二百七十六戸 其他五十三戸

沿革

明治四十二年十二月二十四日時の村長西谷久兵衛小學校長清水由松本會を設立す同四十四年五月三十一日郡の表彰を受く大正元年八月二十四日本縣補習教育展覽會より受賞同九月五日三重縣斯民會編輯部より受賞、同三年三月三十日縣の表彰を受く同五年三月末郡展覽會に於て一等賞受賞

處女會組織

- 會員　在住の處女
- 年齡　十五歲より廿五歲迄
- 支部　各區の設置
- 會長　村長
- 副會長　校長
- 幹事　會長任命各支部一名或は二名

目的

- 婦德修養
  - 勅語詔書
  - 溫良貞淑志操堅實
- 補習教育
  - 農村生活上必須なる智識技能の補習
  - 常識の養成

事業

- 修養方面
  - 會合　定期會役員會（各每月一回）夏期會冬期會（各五日間連續開設及臨時會）
  - 巡回文庫　新聞雜誌書物の廻覽（小學校設置の記念文庫と連絡）
  - 講習　作法割烹手藝染色家事經濟農業衛生屑繭整理等
  - 作法實習　日常行事上必要なる事項（文部省作法要項による）
  - 貴老會　四月三日に七十才以上の長老者を招き茶菓簡易なる料理饗應並に餘興等
- 現實方面
  - 內童援護　赤貧兒童の衣服調製修理洗濯等（學校にて取まとめ便宜各會員に依託）
  - 衛生　トラホーム豫防治療看病育兒法の一端（校醫に講習を受け家庭にて應用）
  - 稚蠶共同飼育　各支部に飼育場設置夏蠶春蠶の二期に於て之を行ふ
  - 娛樂　室內遊戲（明治かるた綴方かるたの類）生花唱歌修身俗謠

民風改善

他團體と連絡

- 小學校　運動會學藝會卒業式拜賀式等儀式會合の場合の加勢
- 保育會　保育會本來の目的たる就學兒童の保護救濟の援助
- 主母會　赤貧兒童の救助談話會衛生事業等につきて連絡
- 耆老會　每年一回貴老會開催敬老の意志の發表
- 品評會　校下物產品評會裁縫品手藝品織物等の成績品出陳

和衷協同

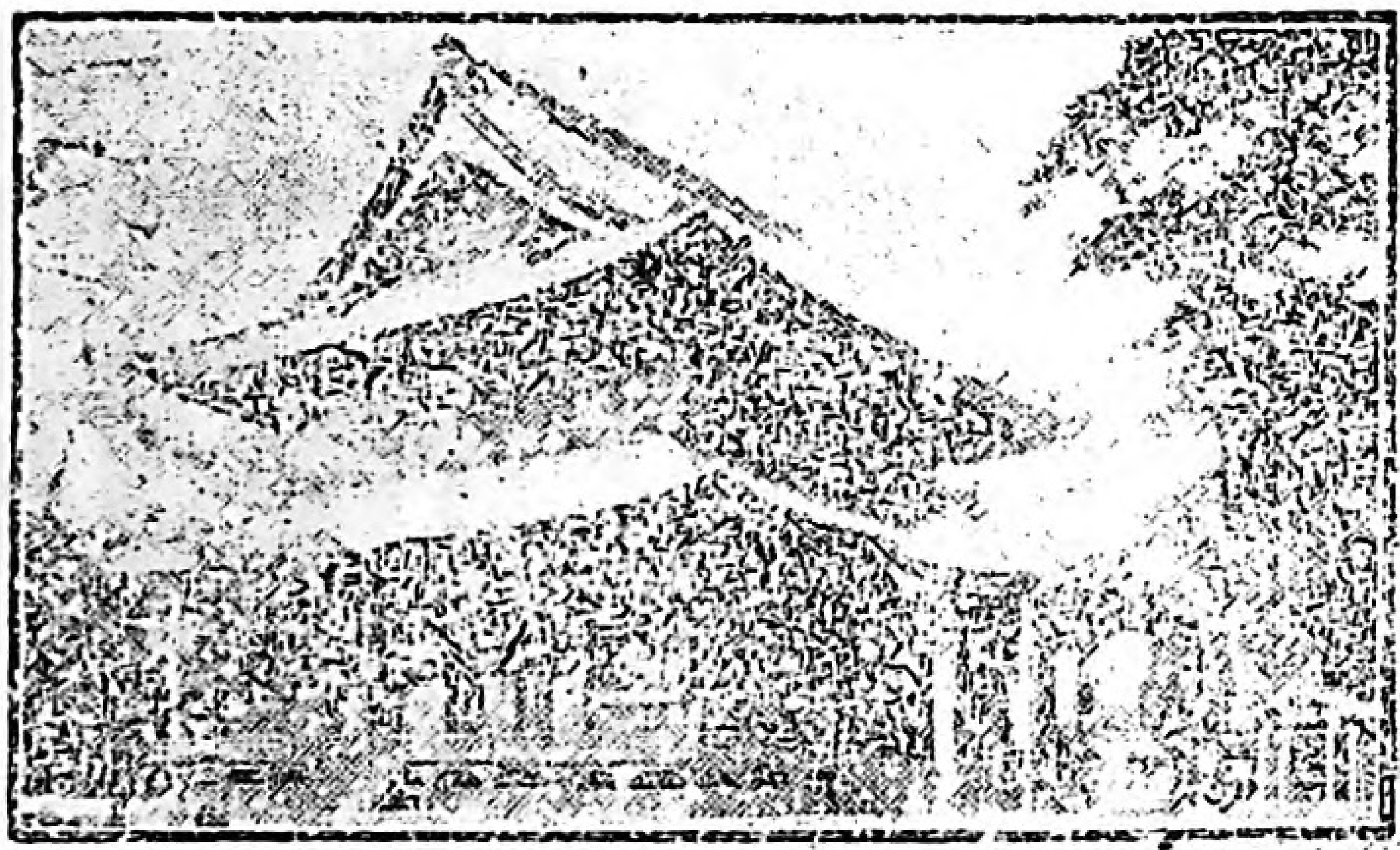
維持

會員醵出（一ケ年十五錢づゝ）退會者寄附（慶事に五十錢より一圓）村費の補助篤志者の寄附

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

＊　＊　＊　＊　＊　＊

阿漕ヶ浦



高野山金堂

繪はがき

旅より旅へ

◎高野山上より

橋本町(和歌山縣伊都郡)に於ける郡婦女會愛導者講習會を終へ、月明に乘じて高野山に登り申候。海拔三千尺の高地にかゝる靈山の開け居り候こと流石は信仰の偉力と感に打たれ申候。寫眞は金堂の側面に候結構宏麗合抱の金柱のキラ〳〵と輝ける殊に心目を惹き申候。只今浴を取り平井郡處女會幹事と明日の行程など談合致し居候。夜更けて谷川の音雨かと疑はれ旅興泉の如く湧き申候。(龍泉院にて)

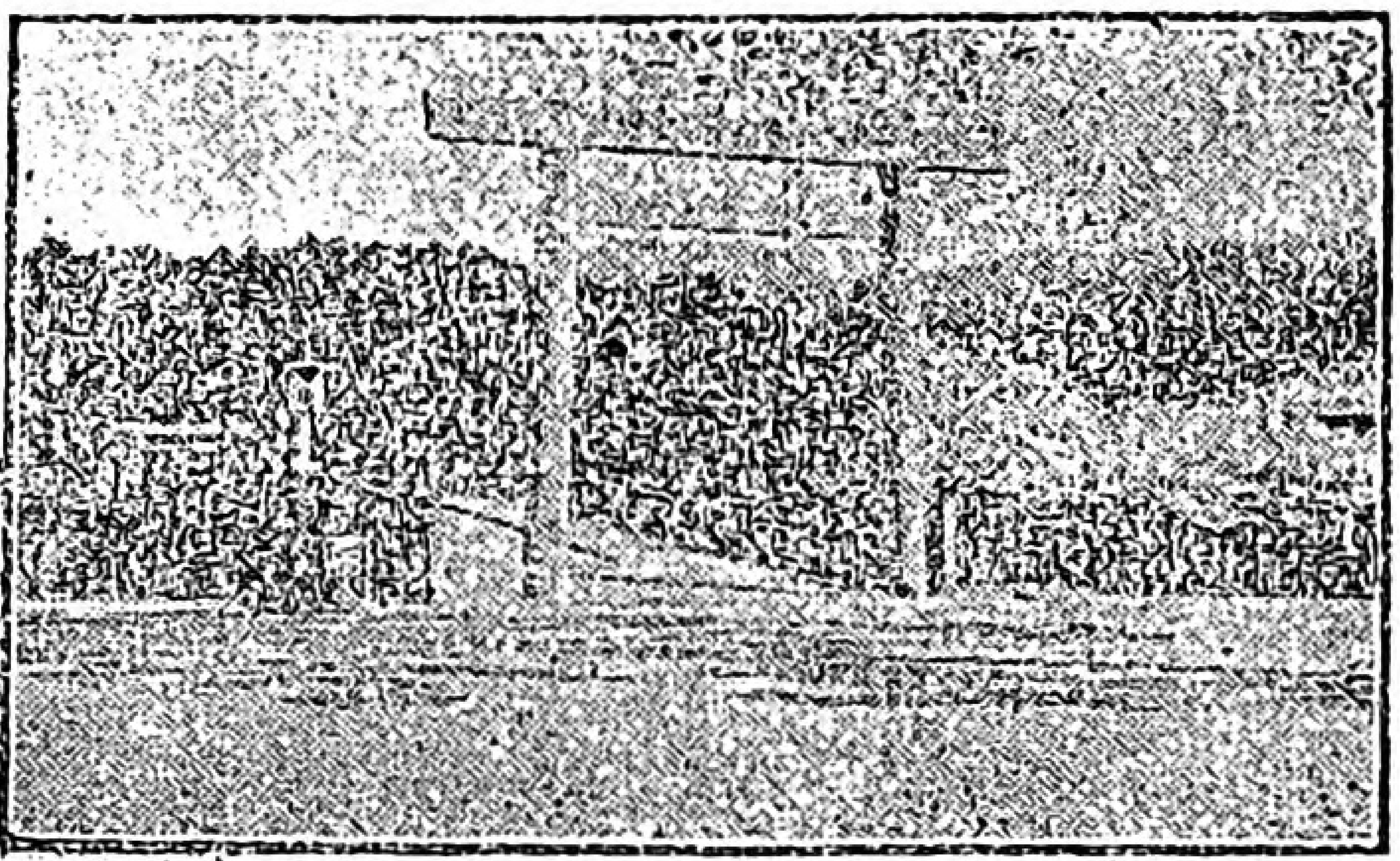
◎阿漕ヶ浦より

津市に參りました。閑靜な公園にも遊びました。けふは美濃部氏の令息連と阿漕ヶ浦に水泳致しました。謠曲に名高い漁夫平治の傳說の殘つてゐる濱邊です。阿漕塚を訪れました。「月の夜に何を阿漕の鳴千鳥」といふ芭蕉の句が涙をさそひます。

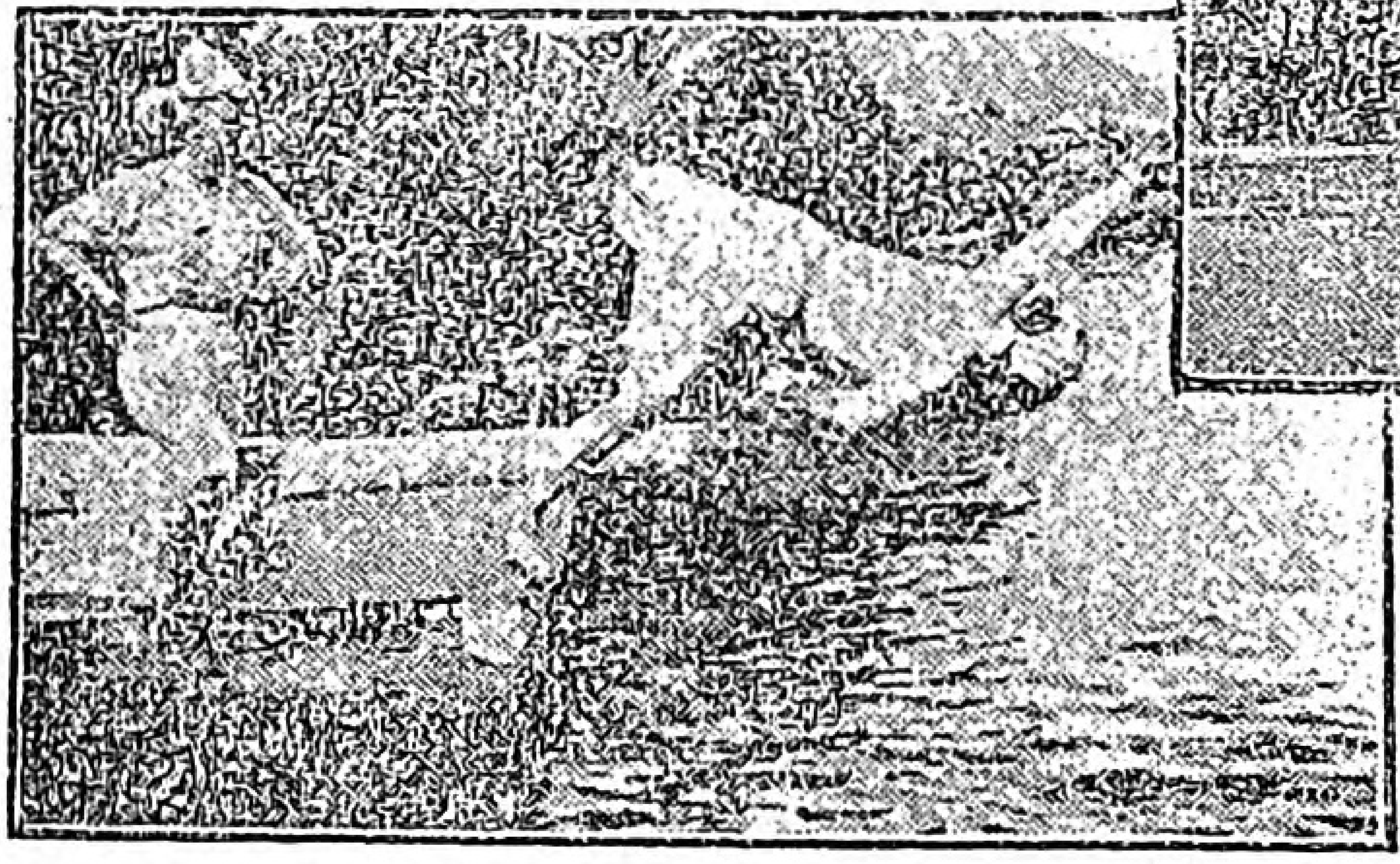
夕日の舂くまで松風を聞きながら水泳しまして。美濃部邸に歸りますとまんまるい月が出ました。涼しい二階で御主人と心ゆくばかり地方婦人界の情勢を物語り合ひましたことは、今度の旅の忘れがたない思ひ出の一つです。(美濃部邸に月を眺めつゝ)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

＊　＊　＊　＊　＊　＊



宇治橋（伊勢）



志摩海女の活動

の旅便り

◇伊勢大廟より

山田に下車して外宮を參拜し其より電車にて山田に參り内宮を拜觀して只今旅館にもどり申候。

何事のおはしますかはしらねども
　かたじけなさに涙こぼるゝ

と古歌にある如く五十鈴川の流れ、神さびたる宇治橋さては千年の神林寂びたる社廟などを拜むにつけ、一種の靈氣の測々と胸を打つを覺え候折から霖雨霽れて神樹の綠り濃やかに日ぐらし蟬の銀鈴を振るも聞えて俛首低徊しばらく神橋の欄に身をよせて仙境に漂ひ申候ひき。（山田市の客舍にて）

◇鳥羽港より

母上樣鳥羽に參りました。海岸のそれは〳〵景色のよいところです。丁度教育會がありましたが處女會のお話をすませ、いま樋の山公園の皆春樓に居ます。町から四百尺の山の上登るに大汗流しましたが、ひと風呂あびて庭に立つた時の景氣はたとへやうありません。港は目の下に見下ろされ島の間を白帆が通ります。松島にもまけません、父上と御一所ならばとしみ〴〵思ひました。

今夜は丁度十五夜この分では月も出ませう。（皆春樓にて）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

東京市に婦人會の誕生

◇地方改良を目的とする◇

東京市には社交的の婦人會は澤山ありましたが、地方改良を目的さする婦人會は實に次の彌生婦人會が始めてです。外に婦人働き會も出來ました。家庭内職研究會も出來ました。都會の上流中流の婦人の社會的自覺の機運は目ざましいものです。八月二十八日の讀賣新聞の記事をそのまゝ轉載いたします。

彌生婦人會の組織

衛生や道路の改善等に盡力

隈川博士未亡人京子女史の談

名のみの秋は一入暑い。本郷彌生ケ丘の高い花崗の石門から格子先まで落葉一つなき清らかさ。無花果の繁みからつく〳〵法師に秋の音を聞く、故隈川宗雄博士の御邸は京子未亡人の目離れもされぬ心盡しに博士在世をその儘であります。風通しのよい二階座敷に案内されて煽風機に汗を沈める處に京子未亡人は柔しげに、物靜かに座につかれる「お訪ねに預りましても私などお話の種も持ちません、府立の第一高等女學校へ入學致しましたのはもう、かれこれ三十年も昔になりました、その時の子供の心その儘に、世の中の進歩と沒交渉に年をとりましたので古い女になつて仕舞ひました」淑やかに又清らかな方はかう上手にお逃げなさる「趣味などいふ大層なことは御座いませんがもう何んでも好きで手を出しました、音樂は日本音樂、はい……琴、三絃など隈川へ參つてもよく致しました、姑が在世の折大好きでいられたのと隈川

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は研究に沒頭主義で許を乞へば何事も許して呉れる人でしたが、外へ出るのを好まなかつたものですから一週二度水曜日を限つてお友達の皆様を、お寄り集め申してそれは〳〵賑やかに樂しく暮しました、只今で御座いますか、何時まで喪に服するのかと申される方も御座います位、もう樂器など持たぬが習慣になつて忘れた樣になりました此頃で御座いますか、毎朝仕事として經文を寫して居ります、

先頃護國寺の住職に何にも意味を知らずに寫してよいかとたづねましたら、其れでもよいとまをされました、これをする間心は大層靜まつて居ります以前から居ます女中は家の細事を引受けて私に何んでも御心の向いた仕事にお進み下さい、と献身的に忠實を盡して呉れますが、何んにも出來ませんで」「先頃小橋三四子さんが女は男子に到底及ばないといはれましたが、女史にこの語を聞いて小橋さんは本當に偉い方だとつくづく感じました。お年は召しても櫻井ちか子女史などは、時世に連れて頭を新らしくお働かせなさる方で御座います。この彌生村は戸數二百八十戸ありますが、その町内の主婦連の爲めに櫻井女史に私共が加はつて『彌生婦人會』といふを組織致しました。主婦の寄合は年三回、第一回は六月致しました。

私共幹事の集合は水曜日、そして町内の衛生に注意致しましたり、些かでも公德になる事など致します、高等學校わきの暗い道路に會費の一部で街燈をともしましたり、只今の樣に流行病の徴が見えましたら石油乳劑をこしらへて資力のあるお宅では買上げて頂き其他のお宅へは會費で求めて配布すると申した仕事をして居ります、本年附近に蠅の少ないのは驅除の効かとも申し合つて居ります。次には道路の改善、街路の衛生、撒水などいふことを相談致すことになつて居ます。何しろ會の資力がまだ充分で御座いませんから思ふ儘にはなりませんが、結果は大層よい樣に思はれます、これが漸次に擴まつたらなどいふことを樂しみにぼつぼつ微力を出して居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

農村の將來と婦人の覺悟

廣島縣山縣郡新庄村
私立新庄女學校生徒　田邊ミヱ子

本年五月新庄女學校を視察し、十週年紀念展覽會場に陳列せられたる同校生徒卒業論文の一篇を原文の儘寫し來りたるものなり。田邊ミヱ子は今女子大學に學びつゝあり。

一、入學當時の氣持

長いと思つた四年間も既に盡きなんとして、我等の前には今卒業と言ふ大問題が横たはつて居るのである。私の心の中は希望と恐怖とが一緒になつて、卒業後の使命なるものを形造つて居る。

一體私の使命は何であるか、此の卒業と言ふ私にとりて一生の決心を固むべき時に際し、果して私は何を感ずるか、如何なる覺悟を固むべきか、暫く熟考する必要があると思ふ。

一體私は何を目的として本校に入學したか、其の頃を思ひかへすに當時は何等目に立ちたる考もなく、まとまりたる目的もなく、全く無意識でもなかつたけれど、其の當時の考へはまことに貧弱なものであつた。以來恩愛深き師の君に育れて、至らずとも使命等考へて見る樣になつたのである。

學校の目的は言ふまでもなく「理想の農村」である。この時代を觀察した目的學校の使命を果すものは誰ではない皆私等の雙肩に負つて居るのである。殊に卒業生に重い責任があるのである。さうして見ると微弱ながらも私の使命は本校の目的から割出された一部でなければならぬ。

二、農村を革新せよ

實際無教育な國民を持つ國家は遠からずして滅亡を見るのである。我等は今日其實現を見せられて居るの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ではないか、露國が今日かゝる慘な末路を齎すに至つたのは果して何が原因するのであるか、國土が廣かつた爲ではない。矢張り國民の敎育に留意しなかつた結果である。こゝに於て我等は我が國の農村の狀況を顧なければならぬ。我が國も國民の殆ど大多數は農民と言つてよい。其の農村、地方自治團の發達をはからずにどうして國家の進步發展が見られやうか、何事でも根本を改めずに居ては、どうしても事の成就は見られないものである。我が國は果してこのまゝで農村の敎育が完全と言はれ樣か、私は全然完全とは言はれないと思ふ、もしも敎育が眞に徹底した國民であつたならば、去年の如き騷動は起らない筈である。尤も一方面から言へば、まだ我が國の社會組織の不完全な點も慥に原因したに相違ない。

　此の外日常の見たり聞いたりする事によつても「今少し敎育があつたならば」と思はれる事が澤山ある。けれども自分が敎育があると言ふのではない。共に今少し進んだ農村になりたいと言ふ事を切望するのである。

三、故鄕何の狀ぞ

長い戰亂もいよ〳〵終局をつげた。さうして此の度開かるゝ會議こそ人々が十年前まで夢に望んで居た眞正の平和が締結されるのである。而も世界永遠の平和を目的とせるものと聞く。今が丁度世界の一大維新である。さうして今まで戰亂の爲に進步を妨げられて居た總ては、一時に勃興して戰亂前よりも一層の急激な進步を見るであらう。かゝる時に際し我が國の狀態は如何であるか。

　戰捷平和の春が來ても閑村は何時までも閑村である。目に耳に何等の感ずる所もなく依然として少しの覺醒する所もなく、平凡な生活を持續して居るではないか。

　今に至るも農村の改良を叫ぶものが農村に少いと言ふ事である。少し敎育を受けたものは、我が故鄕農村を忘れて繁華な都に踏止り、眞に農村敎育の必要を感

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

じて、農村に歸へるものは、至つて稀なのである。

かう言ふ風にして農村は日増しに頽廢して行くのである。是に反して一方都會は學藝の中心地たるを以て日増しに發展して行くではないか、勿論都會は國家の一要素である。其の發展發達はまことに悦しい事である。けれども其の發展の裏には農村と言ふ衰頽したものがあるではないか、是が今日の見るに忍びがたい現狀である。是が平均に都會と田舍とが相待て進歩したならば國家はどんなに發展することであらう。

要するに都會は修業の地である、業を卒へた者は續々農村に歸へるべきである。

四、青年處女自覺せよ

第二に農村が益々頽廢する原因は今後の農村を維持して行くべき青年處女が妄に都會に憧憬れて自分の天職の農業に飽き、都會の皮相をのみ觀察して田園生活の趣味深き所を解せず、次第に農村を遠ざかると言ふ事である。殊に此等の事が婦女子に多いと言ふ事はまとに憤慨に堪へない大問題である。然らば如何にしてこの事を防ぐかと言ふに矢張り敎育より外にないのである。かゝる事が裏面に行はれて居る事を觀察せずして如何に農村の改良を叫んだとて農村の頽廢を回復する事は出來ないのである。農村の改良等言ふ事は現今俄に起つた問題ではない。今私が事新たに言ひ出した事でもない。そも／＼本校がこの山間に建設されたと言ふ事は何の目的であるか、只農村改良と言ふやむにやまれぬ叫は、十年前遂に學校と言ふものを生んだのである。けれども「大聲は俚耳に入らず」で當時は其の一小團體の叫は世の大聲を如何ともなしがたく其れに共鳴する人は至つて少なかつたのである。而しながら農村も世運につれて微弱ながらも進歩し、現今は社會から敎育ある婦女子を頻りに要求するに至つたのである。

こゝに於て學校の目的と、社會の要求する所とが合致して、初めて私の使命が那邊にあるかを實感する事が出來るのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

言ふまでもなく農村の改良である。然らば其の改良は如何にしてするか、これは全く教育の力より外にないと思ふ。然らば其の教育は如何にしてするか、これが今の私の一大問題である。

其にはどうしても私自身の修養が大切である。私共が今少し事理を辨へた者にならなければ、何を以て農村を教育するか、故に私はこの使命を深く胸中に潜めて尚々修養に研究につとめ時期の到るを待ちて終生の事業として必ず必ず、果さなければならぬ。若し私にして果す事が出來たならば、御鴻恩深き師の君への御報恩の萬分の一ともなる事と信ずるのである。

故に今後の進むべき道を殊に精神的の學校に求めたのも皆私の使命を全からしめんが爲である。

五、不滅の努力

最後に私の理想としては教育機關即ち學校の如きものは、都會よりも田舍に設立したいと言ふ事である。農村の婦女は必ず農村で教育したらよいと思ふ。こうしたならば、農村も次第に四圍の境遇に感化せられて、風儀の改善等も割合に出來易くはあるまいかと思はれる。

嗚、學校の目的を果すも學校の名譽に傷つくるも皆私等の考へ一つにあるのである。責任は實に重い。今後私は如何なる艱苦の境遇に際しても、自分の進むべき道を開拓し、私の使命を貫徹しなければならぬ。

微弱ながらもこの使命を感ずると同時に不滅の希望と不斷の努力の胸中に湧き出づるを覺ゆるのである。

新庄女學校校訓歌

（其一）

教ふるも教へらるゝも學柱
ひとつ心に立つべかりけり

（其二）

姿こそみ山がくれの朽木なれ
心は花になさばなりなむ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

和歌山縣伊都郡婦女會一覽

會名	會長名	會員數 處女	會員數 其他	會員數 計	事業概要
橋本町婦人會	缺員	四〇	二〇	六〇	年一回總會
菖蒲谷婦人會	市村壽江	七	三九	四六	特ニ記スベキ事業ナシ
笠田村婦人會	東平四郎	一八五	八四〇	一、〇二五	年二回總會講習會幷ニ社會見學旅行
大谷村婦女會	草田ツル	一〇九	一七二	二八一	年二回總會年四回例會水害慰問、慰問袋贈呈、祝典（結婚）紀念品贈呈茶花講習會
四郷村婦人會	缺員	九七	三二〇	四一七	總會開會講演會
丁ノ町婦人會	堀内彌十郎	三二五		三二五	年二回總會
妙寺小學校女子同窓會	堀内彌十郎	一三七	六八	二〇五	年二回總會會員ノ見學短期講習會開催
信太村西部婦人會	大橋宗一郎	三三		三三	年二回總會圖書雜誌ノ共同購入懇親事業
應其村處女會	北松彌太郎	一二		一二	敎育勅語戊申詔書ノ服膺補習學校へ入學濟美文庫ノ利用表彰
端場村婦人會	石井才太郎	三〇	四〇	七〇	年二回總會
岸上村婦人會	畑秀一郎	一〇三	三四七	四五〇	每月一回例會
山田女子同窓會	堀内彌平治	六一	九五	一五六	補習敎育ノ奬勵家事講習會ノ開催講演會ノ開催
紀見婦人會	井上時三郎	一〇八	二一〇	三一八	敎育勅語戊申詔書御趣旨ノ徴底チ圖ルコト講演會講習會ノ開催貯金ノ奬勵表彰慈善事業
紀見村北部婦人會	室谷甲二	六二	二五二	三一四	補習敎育ノ奬勵總會年一回講習會開催圖書ノ閲覽遠足貯金ノ奬勵慈善事業
境原學區内實有婦人部	茶谷孫七郎	四七	八六	一三三	年四回總會講演會講習會開催敬老會
隅田村婦人會	隅田市兵衛	五二	二三八	二九〇	補習敎育ノ奬勵規約貯金講話會旅行
富貴婦人會	稲葉正一	七四	九四	一六八	年二回總會講習會
筒香婦人會	木村秀夫	五六		五六	會員ノ修養
戀野第二小學校婦人會	守田虎之丞	四五	二〇	六五	處女部ハ一ケ月一回會合講習會展覽會開催旅行
學文路第一小學女子同窓會	堀内閣次郎	四三	二	四四	年二回總會婦人雜誌ノ回覽講習會
河根婦人會	缺員	一三		一三	補習敎育ノ奬勵
久保東郷聯合女子會	山内牛吉	三五		三五	勅語捧讀會補習敎育ノ奬勵講習會展覽會開催
丹生川女子會	山田鶴吉	三二	五五	八七	總會年三回旅行講習會展覽會開催基本財產ノ造成惡風矯正吉凶ノ慶弔
桃園婦人會	丹生照義	一三	六七	八〇	年二回總會圖書廻覽講習會開催臨時總會
淨水婦人會	藤岡彌太郎	九四	一三	一〇七	每月一回集會補習敎育ノ奬勵圖書迴覽惡風矯正
見好村第一部處女會	野上武二郎	八五	七	九二	年二回總會講話會講習會展覽會ノ開催旅行
見好村第一部母ノ會	野上武二郎		二三六	二三六	年二回總會講話會學校參觀
見好村第二部婦人會	森岡和夫	一三六	四四八	五八四	年二回總會講習會旅行音樂會
天野婦女會	岡村留太郎	四七	六六	一一三	懇談會講習會年二回總會
天野村志賀婦人會	小島芳三郎	四〇	三〇	七〇	談話會年六回裁縫家事講習會共同貯金遠足
天野村新城婦人會	向井梅松	四四	三八	八二	講話會共同貯金年二回總會
花坂婦人會	坂本コヨ	二五	四〇	六五	年二回總會出征軍人慰問
湯川婦人會	遠藤長之助	一八	二六	四四	年二回總會
西細川婦人會	西川松三郎	一五	二〇	三五	補習敎育ノ奬勵圖書ノ回覽年一回敬老會チ開ク
相ノ浦婦人會	辻岡シツヱ	一七	五〇	六七	每月二回開會シテ講話會又ハ圖書ノ閲覽チナス慈善事業
高根婦人會	高田シマヱ	四〇	一三	五三	講習會講演會貯金吉凶慶弔表彰
杖ケ藪婦人會	色谷キクヱ	二三	三三	五六	一ケ月一回以上ノ會合講習會展覽會開設遠足表彰
梁瀬婦人會	兒玉文吾	三七		三七	圖書ノ閲覽遠足裁縫生花講習會
花園婦人會	山内由松	一六	五	二一	敎育勅語戊申詔書ノ御趣旨ノ徴底チ圖ルコト補習敎育奬勵圖書ノ回覽
有畝婦人會	宮井房太郎	三一		三一	精神修養運會動旅行共同作業

計　處女二、一七五　其他三、九九八　合計六、一七三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

馬鈴薯飯の炊方圖解

生馬鈴薯を水にてよく洗ひ皮を去り之を第一圖（實物大）の如く細切し（第三圖の如き機械にて先づ縦に切り之を庖丁にて横に三分位の長さに切らば一層簡便なり）暫時水中に浸し置き一二回水にて洗ひ適當の割合に（普通白米一升に切片一升）米と交互に入れ（第二圖）米と等量の水を加へて飯を炊くものとす（例へば米一升馬鈴薯の切片一升の割合にて飯を炊くには水一升を加ふ）生馬鈴薯一貫目より切片約三升を得切りたる馬鈴薯を永く空中に晒すときは赤褐色に變色するものなれば常に之を水中に浸し置き必要に應じ取出す樣にするを要す別記貯藏方法に記載せる乾燥切片を用ゐる場合には適當の割合に（普通は米の二割五分）第二圖の如く米に混じ水加減を少し多くして飯を炊くものとす。

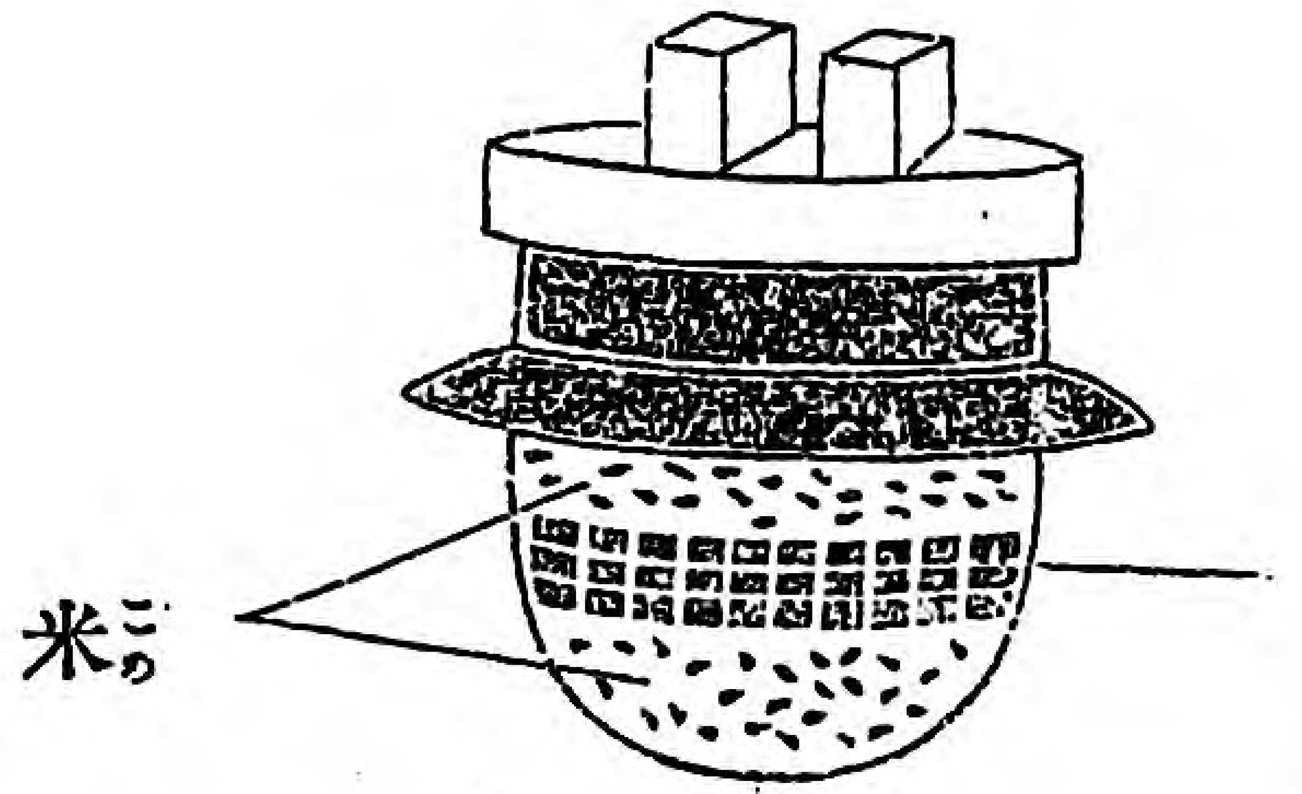
第一圖

馬鈴薯の切れ（實物大）

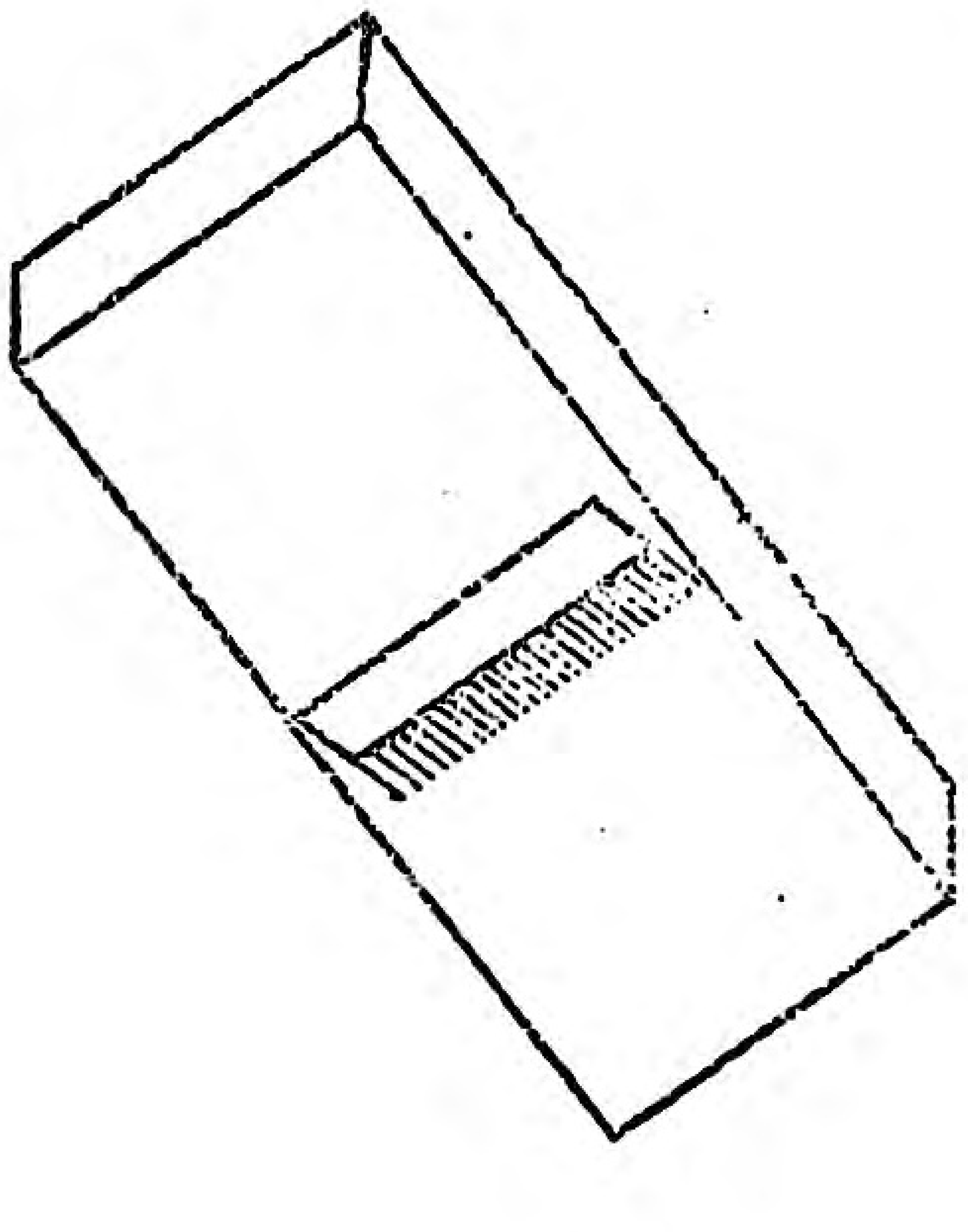
米飯粒（實物大）

（コレハ婦女子ニテモ機械ナクシテ容易ニ切ルコトヲ得）

第二圖



第三圖



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

新しい代用食

東京府立第三高女教諭　中澤美代子

* **

私はお米の代りに、供給の多い、價の廉い、そして滋養分もかなり多い高粱を、何とかして使かつて見たいと思ひつき、色々考へました結果、これを一方に挽割とし一方は粉にしてみました。高粱といふのは滿洲あたりから澤山に出るきびの一種です。挽割は御飯に入れて食べる外ありません。之を御飯にしますには、五六日間も水につけておいて、やはらかになつた時に御米を混ぜて煮るのですが、それではあまり手數がかかりますし、器物も澤山いりますから、そのまゝ五六分間も茹でてみましたら大變やはらかくなりました。之を、小豆米を炊く位の水加減にして炊き、その中に小豆を少し入れますと、味も見掛も大變よくなります

* **

粉の方は、最初は團子にしてみましたが、どうしてもかたまらず、うどん粉を入れて漸うかためましたが本來粘り氣のないのを無理にかためましたので、ベタベタと歯についてよくありません。それで、これを燒いて見たらと考へつき、阿部知事にも相談しましたところがそれがよいと言はれましたので、試してみました上、家庭パンといふのをこしらへてみました。これは高粱粉とうどん粉とを半々にして、普通のパンをこしらへるやうに、燒粉を入れ水をまぜてこね、そして竈で燒きます。けれども、パンを燒くには、どうして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

も竈が入りますから、一般の家庭には不向の樣でもありますけれども、これが廣く用ゐられて、どん／＼需要が多くなる樣ならば、パン屋に粉を安くして與へ、この製品を安くうらせるもよいと思ひます。

*
**

倘パンの外に最も安價で滋養價の多い代用食二三の獻立と製法とをお目にかけます。

第一號（スペイン豆 家庭パン）

小手芒豆	一合	一六厘
玉葱	二〇匁	一厘
トマトー	二〇	一五
バタ	九	三七
砂糖	二	六
家庭パン	一五	三〇
計		｜一一四

小手芒といふ豆に水を適宜に加へて煮えたら、トマトと玉葱とを切つて入れ、倘少量のバタか胡麻油（豆一升について油五勺程）を入れ、その人の好みによつて辛子か酢を少し入れます。そして煮えたらば火鉢の上に三四時そのまゝにしておきますと、ぼつとりとやはらかく大きくなります。之を主食にしてパンを少しそへます。日本の人は西洋料理の立派なのを食べながらも、やはりパンを主食にしなければ氣がすまぬ樣ですが、西洋人はあんな事をしません。それで、之は特に豆を主食とせられるやうにしたのですが試食會の時にも皆喜んでたべられました。

第二號（魚饅頭 豆入パン）

馬鈴薯	二八匁	一三厘
鯖	一三	二〇
胡麻油	一勺	一八
加味料全部	一	二二
豆入パン	二〇	三〇
バタ	二匁強	二〇
計		｜一一三

これは馬鈴薯をゆでて、つぶして何か魚を少量茹でてその中に入れ團子の形にまるめ、玉子燒鍋か何かに油をさして、その上でぐるりをこがして中を溫めます。これにソースをつけて出せばよろしい。

ソースをこしらへますには、胡麻油を極く少量鍋に入れ、うどん粉と胡椒と鹽とを入れ、よく煎つてから湯でとかし、その中に少しばかり醤油を入れて色をつけ皿にこのソースをし入れて、その上にお饅頭をのせて出します。

豆入パンといふのは、豆をやはらかく煮ておいて、うどん粉を二度目にこねかへす時に入れてやくのです

第三號 櫻饂飩

干饂飩	二〇匁	三三厘
トマトー	二〇	一五
砂糖	一	三
計		六一

これはどんな家庭でも出來る、きはめて簡單な料理です、まづ乾饂飩をゆでゝ、トマトと玉葱とをこ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

まかく切つてよく煮その中へ極少量の砂糖を入れて又しばらく小火で煮それを饂飩といつしよに煮ます。すると、色が丁度櫻のやうに、ほんのりと赤くなりますから、さくらうどんと名をつけました。

第四號 芋吹雪

馬鈴薯	二八匁	一三厘
鯨赤肉	一六	二六
玉葱	二〇	一〇
計		五九

これは、鯨の赤肉と玉葱とを小さく切つて、油で煎り、その上から馬鈴薯のゆでてつぶしたものを押出し器に入れて、おし出してかけたものです。堆高く丁度、吹雪のやうに見えますから、こんな名をつけましたゞけです。

◎家庭内職展覧會を視る

九月十七日から二十一日まで赤阪三會堂で開かれました。龜井孝子さまにお會ひして説明していたゞきました。中流以上の奥さんたちが、内職を申込んで來るさうです。一番多いのは雲母剝ぎ靴下の飾りつけ、バテレンース、などださうです。一日一萬人以上入場者があつたさうです。皆様はとつくに内職してゐらつしやいます。是からは働かぬ女はいやしい女です(きみ子)

晨の鐘

内務事務官　田中芳溪

子らはみな社のにはに集ふらむ神樂するなり病めるいとし兒

わが家より隣にかけしさゝがにの蜘蛛の大巣に秋風ぞ立つ

夕榮の丘のはてをば辿り行く遠く小さき影の淋しさ

出水荒れし川沿道の砂利の膚秋日慘しう蟲の音もなし

半ば落ちし橋に群れ立つ赤蜻蛉靜に澄みて水流るなり

人去りぬ戸を閉さんと立ち行きて俄に淋し蟋蟀の聲

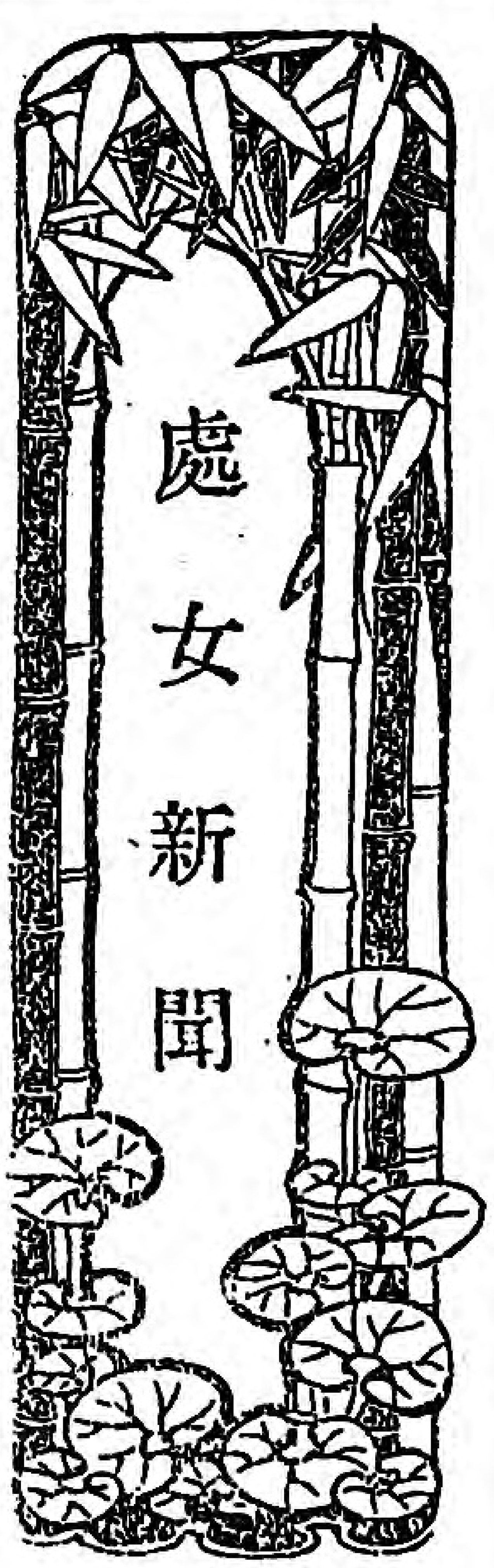
秋の雨ふと目醒めたる夜半に聞く遠鳴る汽車の笛の音かも

秋晴れや螽斯ざわめく畔ゆけば溝に枝垂れし古寺の萩

工夫等は鶴嘴揃へ砂利打てり鐵路靜かに秋くれんとす

京の朝鐘鳴るこゝだ宮人のよき夢破りし朝の鐘なる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



處女新聞

第十月號
處女新聞社

季節

「暑さ寒さも彼岸まで」めつきり、涼しくなりました。野には七草咲きみだれ、栗や柿も色づきます。夜は叢に鈴蟲松蟲が啼きますが、それにも増して趣のあるのは、こほろぎです。秋雨のしと〳〵とふる夕べ、夜なべなどしてゐますと、土間からころ〳〵と淋しいけれども趣のあるあのこほろぎ！『寒さが來るから支度をしろよ。』土地の子供はこういつて鳴くと申します。お蠶は出來る。お茶は當る、お米はされる。皆様はもう十分支度が出來たでせうお金が出來てもぜいたくにならぬように。

女工さん

女工さんは皆様の姉妹です。六十萬人とも申しますが、ほんとうは百萬人位ありませう。多くは地方の娘さん。好き好んでなつた娘さんばかりでもありますまい。近頃女工さんが氣の毒だといつて騷ぎ出しました。今にもつと〳〵待遇もよくなりませう。皆様も工場と連絡をとり現在皆様の村から出てゐる女工さんと仲よくして下さい。それから是からなるといふ方は、なる前によく工場のことを調べ、惡るい工場へいつてはいけません。お金が大事か、命が大事か。よく考へて下さい。

女教員と節米講習

十月の六日から十日まで內務省の主催で東京のお茶の水の女子高等師範學校に全國の高等女學校の家事科の教員が集つて食物や燃料や炊事の講習を受けます。婦人の力が段段と認められて來ました。內務省が婦人を集めて講習會を開くのは此度が始めてです。民方涵養も節米も代用食の奬めも女が本です。尙これから衣服のこと、住宅のことも研究しなければなりません。

處女會と活動寫眞

こんど文部省の棚橋督學官と處女會中央部と相談致しまして、處女會を活動寫眞にして其の第一回の試演をお茶の水の教育博物館で催すことになりました處女會が活動寫眞となつて東京の幾萬といふ人の目に入るといふことはなんといふ愉快なことでせう。さあどこでどういふ所をとりますか、詳しくは次號のおたのしみ。

笑話

母「すみちやんは大きくなると郵便局に入れてあげるよ」すみ子「母ちやんあたいいやだわ、アンナ小さな穴へあたいを入れては」すみちやんは郵便局をポストと思つてゐたのでせう。

消息

嘉悅理事は八月十三日上野出發若松市の婦人會、處女會の講演に赴かれ、十五日歸京されました。非常に盛會だつたさうです。

文字早覺

慕、募、暮、蟇、墓、幕、
これを歌によみて
水慕ふ力は募る日は暮る〻
蟲は蟇墓は土にて幕は巾なり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

投稿歡迎
每號發表

入賞

處女會長樣のお墓に詣でゝ

滋賀縣蒲生郡市邊村　川本きぬ

先生々々けふは處女會員を連れ立つて先生の七七の日の御墓參りを致します。先生の御心のような淸き水、美しき花をお手向いたします、このダリヤは過ぎし春先生と共に學の庭に植ゑましたのです。いまお供へします、私等の心をお察し下さい。桔梗苅萱皆艷を競つてゐます、夫れに先生は私等をあとにし此世を……あゝ病氣ほど無情な嫌なものはありません。先生の修身講話錄は合本さしましてくり返し〳〵愛讀してをります、先生お墓しくございます。いがほど申上ましても先生は一言もお答下さいませぬ、しかも盡きぬ思でございます。嗚呼これで忌明のおいとまをいたします、折しも夕陽が蒲生野の森にしづんで淨厳院の晩鐘がさびしくひゞきます。

（評）師恩を偲ぶ狀よく現はれたり

日記の中より

靜岡縣小笠郡西山口村　榛葉しん

「光ちやん私等もうおしまひよ。」

「あらさう、私等も今歸ろうかと思つてましたの。」

靜かな〳〵夕にをとめ等は若やかに百姓姿の身も輕く元氣よく家路を急いだ。

私は其のやさしくも亦雄々しい姿の影遠く見送つた。

「おゝ神よ、自然の神よ。」

今日の一日も樂しく暮れた。これも皆神樣の愛に依るあゝいつまでも〳〵自然の神に仕へたい。

こう一人呟いた私は夕暗の中に地に伏し天を仰いでこの廣いそして愛に滿てる大きな自然の神に感謝した。

思ひのまゝ

三河製糸にて　田口千代

すゑ遂に海となるべき谷川も
　しばし木の葉の下くぐるなり

奥山の木々葉の露の一滴二滴がかさなり合つて谷川となり流れ〳〵て野を分け山を分けてそして色々の仕事につかわれてあの漂渺果てなき海となるのです。

私は常に是の樣な事を思つて每日一生懸命で工場に働いて居ます。今に見よ働いたかひあつて多くさんお金を待つて故鄉に歸り父母樣や妹を嬉ばせるつもりです。又嬉ぶ顏が見たいものです。先達も妹の手紙で早く姉樣歸りなさい炬燵を入れて待つて居ますと書いてありましたア、戀しいです雪の降る山里が……私はもう眠りませう眠つて夢でも見ませう。――夢は戀しいものです。

目高

群馬縣勢多郡木瀨村大字下大島　關口かく子

兩岸の草を分けて小川は靜かな音を立てゝ流れて居る淺い所の小石はきれいに洗はれてすき通るかと思はれる。その間を小さい目高が列を造つて矢を射るやうに走つて居る。愛らしい姿がよく見える。ちようど繪のやうだそしてつかれた體を休めるやうに、ヂツと石のかげに小さい尾をふつて居る。そつと手をやると、驚いてあちらこちらと、瓦をならべた樣なうろこを見せて、にげ惑ふ樣はほんとに愛らしい。

◎今月のはみなよく出來てゐます、もつと〳〵振つて下さい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

作文 題隨意 (三百字以内)
和歌 (題隨意一人三首)
俳句 (題隨意一人三句)
考へ物
習字 (半紙一枚六字)

第二種

處女會の寫眞
田園生活の感想
有利なる副業内職
地方篤志婦人の事績
田舎より見たる都會

第三種

處女倶樂部 (はがき一人一題)
衞生問答 (一人一問)
處世問答 (一人一問)

和歌と俳句

一人一首

われのみの知るうれひかも灯ともれば、海くれゆけば涙ながるゝ。　いと子

いつしかに朝顔の花しほみゆき、わが悲しみはもえ出でにけり。　禎子

あまりにも空あをければ此をみな、草むしりつゝ涙ながすも。　とし子

一人なればうがひ藥の紫の、色などめでゝいねなん今宵。　町枝

一人一句

冴えわたる月の下にてゆあみかな　群馬　關口かく子

さらさらと流るゝ岸に野菊かな　滋賀　中川とら子

秋萩になく虫あはれ居待月　東京　森川光子

滿月やくまなくはれて影もなし　島根　森脇操

前號考へ物の答

九月號の答はあまり分り易いものでありました。五百七十八名の中左の方々がくじびきで當りました。　答アメリカ

鹿兒島縣肝屬郡大根占村(百枝ムツミ)△三重縣龜山町大字阿野田(豐田しづ)△埼玉縣入間郡高麗村栗坪(和田はな)△岩手縣氣仙郡小友村(黄川田孝子)△群馬縣勢多郡木瀬字天川(關口ふじ)△新潟縣刈羽郡北條村(小黒清野)△兵庫縣多紀郡大芋村市野々(原田こすみ)△滋賀縣蒲生郡市邊村(村上きく子)△福島縣大沼郡藤川村勝原(上野イセ子)

新考へ物

□十三の國と二十三の國ありいづこ

締切　十月十五日

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

◦編輯だより

○秋風が吹いて來ました、十五夜も近づきました、今年も豐作らしい、農村が富めば都會も榮えます○今月號は節米の記事をふやしました。皆樣はお邦の爲に節米をして下さい。もうやつてゐらつしやることでせうが。

○千葉の石橋樣、高知の間崎樣、群馬の深谷樣、御手紙ありがとう存じます。尙皆樣から澤山おたよりいたゞいてゐます、こゝで御禮申上ます。

○處女會一覽は今月は休みます。來月は工場の姉妹たちの記事をのせます。待つてゐて下さい。處女哀話は佳興に入ります。

○雜誌が已むを得ず値上げとなりました。非常に組み代が高くなつたのでお察し下さい。

○「處女會訓」の『强く優しくまじめに働け』を方々に普及して下さい。尙額になさるならば理事の方に書いていたゞくと宜しうムいます。中央部でお取次致しませう。その規定は次號に發表します。

○工場の中に働いてゐらつしやる方のたよりを歡迎します。工場と農場との連絡時代が來ました。

○秋納が近づき忙しいでせう。處女會の都會見物いかゞ、御案內致します。御宿の世話も致しませう『處女の友』をもつと〳〵ふやして下さい。（Ｋ子）

◎定價値上げ

十月號より下の定價表の如く已むを得ず値上げ致します。

處女の友改正定價表

每月一回一日發行

	一部	半年分	一年分
定價	拾五錢	八拾五錢	壹圓六拾五錢
郵税	五厘	不要	不要
合計	拾五錢五厘	八拾五錢	壹圓六拾五錢

廣告料

	一頁	半頁
特別面	貳拾五圓	／
普通面	拾五圓	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に『前金切』と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵券代用は一割增のこと◎外國行は郵税實費を申受く

大正八年九月二十八日印刷納本
大正八年十月　一　日發　行

發行人印刷人　田所楠猪（東京市本郷元町二丁目六十六番地）
編輯人　天野藤男
印刷所　千代田印刷株式會社（東京市神田區錦町十二、三番地）

東京市本郷區元町二ノ六六
處女會中央部　處女の友發行所
電話小石川三一七四番
振替東京六・一九・〇番

大賣捌　東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他全國の主なる雜誌店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

◆三越の十月◆

いよ〳〵三越の秋の賣出しになりました、年中行事として、最も意味の深い努力の多い賣出しで御座います、特に本年は三越獨特の逸品がその柄に於てその色に於て非常に豊富に陳列されて居ります。

▼新柄陳列會 十月十一日より十七日まで二階にて

▼寄切見切反物賣出し 十月一日より七日まで二階にて開催

三越呉服店

◆◆東京駿河町◆◆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正八年九月二十八日印刷納本
大正八年十月一日發行（每月一回一日發行）

一部定價　金拾五錢

東京市本郷區元町一ノ六六
處女會中央部　處女之友發行所

復刻版 処女(しょじょ)の友(とも) 全5巻+別冊1

2014年11月1日発行

揃定価(本体90、000円+税)

編集・発行者 細田哲史

発行所 不二出版
東京都文京区向丘1-2-12
☎03(3812)4433

印刷所 富士リプロ

製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

第1巻 ISBN978-4-8350-7660-7
全6冊 分売不可 セットコードISBN978-4-8350-7659-1

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

UNIVERSITY OF
ILLINOIS LIBRARY
AT URBANA-CHAMPAIGN
BOOKSTACKS

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN